



デジタルマルチスイッチャ

# MSD-601

---

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.2.0.1

## 商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Microsoft、Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

なお、取扱説明書は目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 取扱説明書の分冊構成

取扱説明書は、下記のとおり分冊となっています。

### ■ユーザーズガイド

#### [目的]

- ・簡単な操作方法を知る。
- ・設置し、他の機器と接続する。
- ・入出力調整や設定などをする。

### ■コマンドガイド(本書)

#### [目的]

- ・シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、取扱説明書に記載される外観図、メニュー操作および通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。

なお、最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。また、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

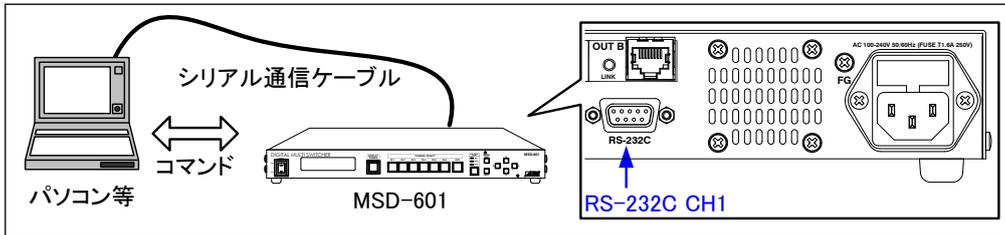
<http://www.idk.co.jp/>

## 目次

1	通信仕様	5
1.1	シリアル通信仕様	5
1.2	LAN通信仕様	7
1.2.1	TCP-IP接続数の制限と解決策	7
2	ASCIIコード表	11
3	コマンド	13
3.1	コマンド概要	13
3.2	コマンド一覧	14
3.3	コマンド詳細	20

## 1 通信仕様

### 1.1 シリアル通信仕様



【図 1.1a】制御機器との接続

本機はシリアル通信による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機をシリアル通信ケーブルで接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記はASCIIコード表(P.11)に従います。シリアル端子の通信設定は「7.10 シリアル端子(参照：ユーザーズガイド)」をご覧ください。

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800, 9600, 19200, 38400[bps]
データビット長	8, 7[bit]
パリティチェック	なし, 偶数, 奇数
ストップビット	1, 2[bit]
Xパラメーター	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CRLF (復帰+改行, 16進表記の0Dと0A)
通信方式	全二重

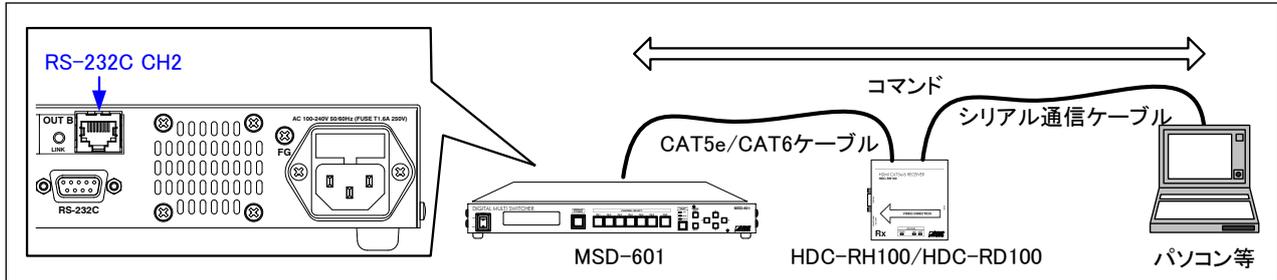
【表 1.1】シリアル通信仕様



【図 1.1b】RS-232C コネクタ・ケーブル仕様

RS-232C CH2 については、当社製 HDMI 対応ツイストペアケーブル受信器「HDC-RH100」もしくは「HDC-RD100」と接続することによって使用が可能です。HDC-100 にも RS-232C 端子がありますので、それをパソコン等の制御機器と接続し、そこから本機に対して外部制御を行ってください。

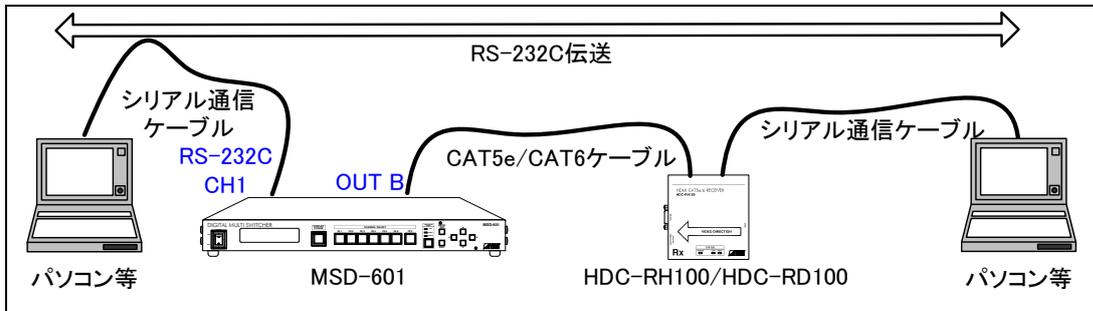
ただし、7.10.3 制御機器間 RS-232C 伝送 (参照：ユーザーズガイド) の設定を「OFF」にしてください。



[図 1.1c] RS-232C CH2 からシリアル通信を行う場合

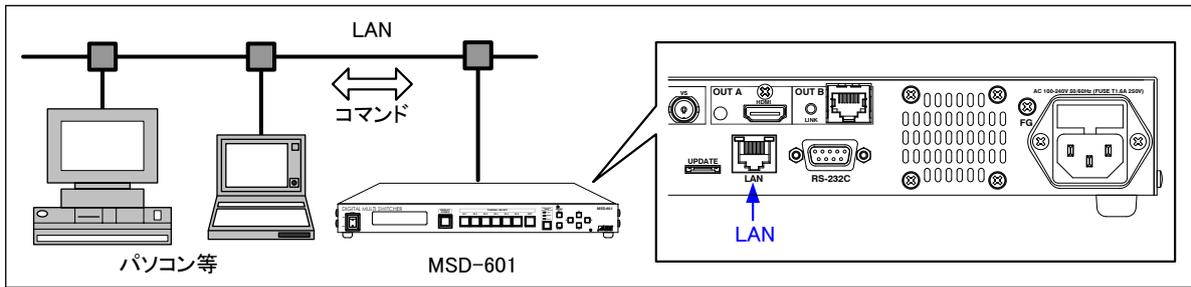
また、RS-232C 信号を全 2 重で長距離伝送することも可能です。

ただし、RS-232C 伝送を行う際には 7.10.3 制御機器間 RS-232C 伝送 (参照：ユーザーズガイド) の設定を「ON」にしてください。



[図 1.1d] RS-232C 伝送を行う場合

## 1.2 LAN通信仕様



【図 1.2a】制御機器との LAN 接続

本機は LAN による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機を LAN で接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記はASCII コード表 (P. 11) に従います。コマンドによる制御を行う場合はポート 6000~6999 番、1100 番、23 番を使用してください。コネクション接続後、30 秒以上通信がない場合、コネクションは切断されます。LAN の設定は「7. 11 LAN (参照：ユーザーズガイド)」をご覧ください。

物理層	10BASE-T (IEEE802. 3i) / 100Base-TX (IEEE802. 3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP コマンド制御使用ポート : 23, 1100, 6000~6999 WEB ブラウザ制御 (HTTP) 使用ポート : 80, 5000~5999
アプリケーション層	HTTP, TELNET

【表 1.2】LAN 通信仕様



【図 1.2b】LAN コネクタ仕様

### 1.2.1 TCP-IPコネクション数の制限と解決策

本機が同時に接続できるのは、最大8コネクション (8ポート) です。したがって、9台以上のパソコンから制御を行う場合に、本機とのコネクションができなくなることがあります。

9コネクション以上の接続を行う場合は、お客様側のソフトで、通信コマンド送受信毎にTCP-IPのコネクションとクローズを行うことにより、本機側でポートの占有と解放が行われ、常時ポートが占有されなくなるため、論理的に8コネクション (8ポート) 以上の接続を行うことが可能です。

お客様側 PC ソフト		MSD-601
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有→空き 7 ポート)
コマンド送信 (@xxx)	→	
	←	コマンド返信 (@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート開放→空き 8 ポート)

[図 1.2.1] 接続数を増やす手法

※注意 : PC 側から本機へ 30 秒間コマンドの送信が行われなかった場合、本機はコネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理を行います。そのため PC 側からは再度コネクションを確立しないと通信が出来なくなります。再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいた PC 側のコネクションの切断処理をした後に再度コネクションの確立処理を行ってください。(本機のポート数は 8 ポートのため、コネクションが繋がったまま PC 側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されてしまうため、PC 側から通信コマンドが来ない場合、コネクションの切断処理を行っています)

以下に、Microsoft Visual Basic .NET 2008 でのプログラミング例を示します。

105 行目の Button1\_Click で、TextBox1 の「送信する通信コマンド」、TextBox2 の「通信先ホスト」、TextBox3 の「ポート番号」を取得し、本機へ通信コマンドを送信します。

本例では、コネクションとクローズを繰り返した場合にデータ送受信の遅延が問題になった場合のために以下のプログラミングを行っています。プログラミング例の、4、5、14、15、16 行目に相当します。

```
' クライアントをオープンします。
Private stClient As TcpClient          ' クライアントクラス
Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリームクラス
Private portNum As Integer             ' ポート番号
Private hostName As String             ' ホスト名

stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(hostName, portNum)
stClient.NoDelay = True                ' 遅延を無効にします
stns = stClient.GetStream()            ' ストリーム オープン
```

#### ※ TcpClient.NoDelay

送信バッファまたは受信バッファが設定されているサイズを超えていない場合に遅延を無効にします。既定値は False です。

NoDelay プロパティの変更により、送受信による遅延時間の軽減が可能です。

#### Microsoft Visual Basic .NET 2008 でのプログラミング例

```
1: Imports System
2: Imports System.Net.Sockets
3: Public Class Form1
4: Private stClient As TcpClient          ' クライアント
5: Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリーム

6: Public Function mOpen(ByVal pHostName As String, ByVal pPortNum As Integer) As Boolean
7:     ' *****
8:     ' オープン
9:     ' 戻り値 成功:True 失敗:False
10:    ' *****
11:    mOpen = False                ' 初期値
12:    Try
13:        ' クライアントをオープンします。
14:        stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(pHostName, pPortNum)
15:        stClient.NoDelay = True    ' 送信/受信遅延を無効にします。
16:        stns = stClient.GetStream() ' ストリーム オープン
17:        If stns.CanTimeout Then
18:            stns.ReadTimeout = 1000 ' タイムアウト時間(1000ms)
19:        End If
```

```

20:         mOpen = True                                ' 成功
21:     Catch ex As Exception
22:         Console.WriteLine(ex.Message)              ' 例外処理の表示
23:     End Try
24:
25: End Function
26: Private Function mSendMessage(ByVal pMsg As String) As String
27:     ' *****
28:     '   メッセージ送信
29:     '   pMsg   送信メッセージ
30:     '   戻り値  返答文字列
31:     ' *****
32:     Dim dtBirth As DateTime                          ' タイムアウト時間
33:     Dim wNow As DateTime                             ' 現在時間
34:     Dim pRecvMsg As String                          ' 返信メッセージ
35:     Dim bytes2(1024) As Byte                        ' 返信メッセージ時格納エリア (Byte 型)
36:     Dim bytesRead2 As Integer                       ' 返信メッセージ時格納エリア (Integer 型)
37:     Dim word As Byte()                              ' システム出力時の書き出し一時データ格納エリア
38:
39:     mSendMessage = ""                               ' 返信値 クリア
40:     pRecvMsg = ""                                  ' ワークエリアクリア
41:
42:     Try
43:         ' ----送信チェック----
44:         If stns.CanWrite Then                       ' 書き込み可能?
45:             ' 文字エンコード
46:             word = System.Text.Encoding.Default.GetBytes(pMsg + vbCrLf)
47:             ' ソケットに出力
48:             stns.Write(word, 0, word.Length)
49:         Else
50:             Exit Function
51:         End If
52:
53:         ' ----受信----
54:         dtBirth = DateTime.Now
55:         dtBirth = dtBirth.AddSeconds(3)             ' 3秒でタイムアウト
56:         Do
57:             wNow = DateTime.Now                     ' 現在時間と比較
58:             If (wNow > dtBirth) Then
59:                 Exit Do                             ' オーバーした場合処理を中断
60:             End If
61:
62:             If stns.CanRead Then                    ' 読み込み可能状態の場合
63:                 ' データの読み込み
64:                 bytesRead2 = stns.Read(bytes2, 0, bytes2.Length)
65:                 ' エンコード
66:                 pRecvMsg = pRecvMsg & _
67:                 System.Text.Encoding.Default.GetString(bytes2, 0, bytesRead2)
68:                 If pRecvMsg <> "" Then
69:                     ' @から CRLF までを抽出
70:                     If ((InStr(pRecvMsg, vbCrLf) <> 0) And (InStr(pRecvMsg, "@") <> 0)) Then
71:                         pRecvMsg = Mid(pRecvMsg, _
72:                         InStr(pRecvMsg, "@"), _
73:                         InStr(pRecvMsg, vbCrLf) _
74:                         - InStr(pRecvMsg, "@"))
75:                     End Do
76:                 End If
77:             End If
78:         End If
79:     Loop
80:     mSendMessage = pRecvMsg                         ' 受信データを返答
81:
82:     Catch ex As Exception
83:         Console.WriteLine(ex.Message)              ' 例外処理の表示
84:     End Try
85:
86: End Function

```

```

87: Public Sub mClose()
88:     ' *****
89:     '   クローズ
90:     ' *****
91:     Try
92:         If Not stns Is Nothing Then           ' ストリームの存在有無
93:             stns.Close()                     ' ストリームクローズ
94:         End If
95:
96:         If Not stClient Is Nothing Then      ' クライアントの存在有無
97:             stClient.Close()                 ' クライアントクローズ
98:         End If
99:
100:    Catch ex As Exception
101:        Console.WriteLine(ex.Message)        ' 例外処理の表示
102:    End Try
103:
104: End Sub

105: Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
106:     Dim wRecvMsg As String                   ' 受信文字列格納場所
107:     Dim i As Integer
108:     Dim wHostName As String
109:     Dim wPortNum As Integer
110:
111:     If (TextBox2.Text = "") Then             ' ホスト名チェック
112:         MsgBox("ホスト名が設定されてません。")
113:         Exit Sub
114:     End If
115:
116:     wHostName = TextBox2.Text
117:
118:     If (TextBox3.Text = "") Then             ' ポート番号チェック
119:         MsgBox("ポート番号が設定されてません。")
120:         Exit Sub
121:     End If
122:     wPortNum = Val(TextBox3.Text)
123:
124:     If TextBox1.Text = "" Then               ' 送信文字列チェック
125:         MsgBox("送信文字が設定されてません。")
126:         Exit Sub
127:     End If
128:
129:     Label6.Text = ""
130:
131:     For i = 0 To 2     ' 3 回リトライを繰り返します (万が一、他のクライアントにより MSD-601 側のポートが全て
                        ' 使われた場合の処理)
132:         If Not mOpen(wHostName, wPortNum) Then
133:             MsgBox("通信オープンエラー")
134:             GoTo Exit_Step
135:         End If
136:
137:         ' オープンします
138:         wRecvMsg = mSendMessege(TextBox1.Text) ' 送信します
139:         Console.WriteLine("wRecvMsg:" & wRecvMsg & Now)
140:         mClose() ' クローズします
141:
142:         If wRecvMsg <> "" Then
143:             Label6.Text = wRecvMsg
144:             GoTo Exit_Step
145:         End If
146:
147:     Next i
148:
149:     MsgBox("送信エラー")
150:
151: Exit_Step:
152:
153: End Sub
154: End Class

```

## 2 ASCII コード表

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

[表 2. 1a] ASCII コード表[1/2]

文字	16 進	コントロールコード詳細
<i>NUL</i>	00	NULI(ヌル)
<i>SOH</i>	01	Start Of Heading(ヘッダ開始)
<i>STX</i>	02	Start of TeXt(テキスト開始)
<i>ETX</i>	03	End of TeXt(テキスト終了)
<i>EOT</i>	04	End Of Transmission(転送終了)
<i>ENQ</i>	05	ENQuiry(問合せ)
<i>ACK</i>	06	ACKnowledge(肯定応答)
<i>BEL</i>	07	BELI(ベル)
<i>BS</i>	08	Back Space(後退)
<i>HT</i>	09	Horizontal Tabulation(水平タブ)
<i>LF</i>	0A	Line Feed(改行)
<i>VT</i>	0B	Vertical Tabulation(垂直タブ)
<i>FF</i>	0C	Form Feed(改ページ)
<i>CR</i>	0D	Carriage Return(復帰)
<i>SO</i>	0E	Shift Out(シフトアウト)
<i>SI</i>	0F	Shift In(シフトイン)
<i>DLE</i>	10	Data Link Escape(伝送制御拡張)
<i>DC1</i>	11	Device Control 1(装置制御 1)
<i>DC2</i>	12	Device Control 2(装置制御 2)
<i>DC3</i>	13	Device Control 3(装置制御 3)
<i>DC4</i>	14	Device Control 4(装置制御 4)
<i>NAK</i>	15	Negative AcKnowledge(否定応答)
<i>SYN</i>	16	SYNchronous idle(同期信号)
<i>ETB</i>	17	End of Transmission Block(転送ブロック終了)
<i>CAN</i>	18	CANcel(取消)
<i>EM</i>	19	End of Medium(媒体終端)
<i>SUB</i>	1A	SUBstitute(置換)
<i>ESC</i>	1B	ESCape(拡張)
<i>FS</i>	1C	File Separator(ファイル分離)
<i>GS</i>	1D	Group Separator(グループ分離)
<i>RS</i>	1E	Record Separator(レコード分離)
<i>US</i>	1F	Unit Separator(ユニット分離)
<i>SP</i>	20	SPace(空白)
<i>DEL</i>	7F	DELete(削除)

[表 2. 1b] ASCII コード表 [2/2]

### 3 コマンド

#### 3.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@(16進表記の40)+3文字の半角英字(大文字小文字)とそれに続くパラメータ(半角数字\*)からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @SSW, 1, 1☐

, は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字でカンマ(16進表記の2C)を表します。

☐ は、デリミタ(CR+LFで16進表記の0D+0A)を表します。

※ 一部のコマンドにはASCIIコードを指定するパラメータがあります。

##### ① 本機の設定を変更するコマンド

コマンドとパラメータをカンマで区切って送信します。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドをそのまま送り返します。

例 : @SSW, 1, 1☐ ←送信コマンド  
@SSW, 1, 1☐ ←本機からのアンサー

##### ② 本機の設定を受信するコマンド

コマンドを送信します。(コマンドによってはパラメータの必要ないものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドに続き現在の設定を送り返します。(コマンドによっては複数のパラメータを返すものがあります)

例 : @GSW☐ ←送信コマンド  
@GSW, 1, 1, 1, 1, 1, 1☐ ←本機からのアンサー

##### ③ エラーコマンド

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合などは、エラーコマンドとエラーの詳細(半角数字)を送り返します。

例 : @SSW, 1, 4☐ ←送信コマンド(この例ではパラメータに誤りがあります)  
@ERR, 1☐ ←本機からのエラーコマンド

##### ④ ヘルプ

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、コマンドの一覧を送り返します。(14分割で送り返しますので、全コマンドの一覧を受信したい場合はデリミタを14回送信してください)

例 : ☐ ←デリミタの送信  
----- HELP (1/14) -----☐ ←以下はコマンドの一覧  
(POWER SWITCH Command)☐  
@SDS / @GDS : Set/Get Display Power Switch☐  
☐  
(CHANNEL SELECT Command)☐  
@SSW / @GSW : Set/Get Input Channel☐  
@SSV / @GSV : Set/Get Video Input Channel☐  
@SSA / @GSA : Set/Get Audio Input Channel☐

## 3.2 コマンド一覧

## エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	20

## 電源スイッチ操作

コマンド	機能	詳細ページ
@SDS	表示機器電源スイッチ設定	21
@GDS	表示機器電源スイッチ取得	21

## 入力チャンネル選択

コマンド	機能	詳細ページ
@SSW	映像・音声チャンネル同時切換	21
@GSW	入力チャンネル取得	21
@SSV	映像チャンネル切換	22
@GSV	映像チャンネル取得	22
@SSA	音声チャンネル切換	22
@GSA	音声チャンネル取得	22

## 画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SOT	出力解像度設定	23
@GOT	出力解像度取得	23
@SUM	表示機器 アスペクト比設定	24
@GUM	表示機器 アスペクト比取得	24
@SAP	アスペクト比設定	24
@GAP	アスペクト比取得	24
@SAR	アスペクト比復元処理設定	25
@GAR	アスペクト比復元処理取得	25
@SOV	オーバースキャン設定	25
@GOV	オーバースキャン取得	25
@SNP	入力表示位置設定	26
@GNP	入力表示位置取得	26
@SNS	入力表示サイズ設定	26
@GNS	入力表示サイズ取得	27
@SNM	入カマスキング設定	27
@GNM	入カマスキング取得	28
@IAS	入力オートサイジング	28
@SOP	出力表示位置設定	28
@GOP	出力表示位置取得	29
@SOS	出力表示サイズ設定	29
@GOS	出力表示サイズ取得	29
@SOM	出カマスキング設定	30
@GOM	出カマスキング取得	30
@OAS	出力オートサイジング	31
@SBC	バックカラー設定	31
@GBC	バックカラー取得	31
@STP	テストパターン設定	32
@GTP	テストパターン取得	32

## 画質設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SFL	シャープネス設定	32
@GFL	シャープネス取得	32
@SBR	入カブライトネス設定	33
@GBR	入カブライトネス取得	33
@SCO	入カコントラスト設定	33
@GCO	入カコントラスト取得	33
@SHU	色相(HUE)設定	34
@GHU	色相(HUE)取得	34
@SST	サチレーション(彩度)設定	34
@GST	サチレーション(彩度)取得	34
@SSU	セットアップレベル設定	35
@GSU	セットアップレベル取得	35
@IDC	入カデフォルトカラー	35
@SOB	出カブライトネス設定	35
@GOB	出カブライトネス取得	36
@SOC	出カコントラスト設定	36
@GOC	出カコントラスト取得	36
@SGM	ガンマ設定	36
@GGM	ガンマ取得	37
@ODC	出カデフォルトカラー	37

## 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SIQ	入カイコライザ設定	37
@GIQ	入カイコライザ取得	37
@SAI	アナログ入力 信号種別設定	38
@GAI	アナログ入力 信号種別取得	38
@SDT	デジタル信号の無入力監視設定	38
@GDT	デジタル信号の無入力監視取得	38
@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	39
@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	39
@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	39
@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	39

## 入力タイミング設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SHT	水平総ドット数設定	40
@GHT	水平総ドット数取得	40
@SHS	水平取り込み開始位置設定	40
@GHS	水平取り込み開始位置取得	41
@SHD	水平表示期間設定	41
@GHD	水平表示期間取得	41
@SVS	垂直取り込み開始位置設定	42
@GVS	垂直取り込み開始位置取得	42
@SVD	垂直表示期間設定	43
@GVD	垂直表示期間取得	43
@AIS	自動計測	43
@AIT	アスペクト比を考慮した自動計測	44
@SIS	取り込み開始位置の自動計測設定	44
@GIS	取り込み開始位置の自動計測取得	44
@SSM	未登録信号入力時の自動計測設定	44
@GSM	未登録信号入力時の自動計測取得	45
@RTT	機種データの読み出し	45
@STT	機種データの登録	45
@STK	トラッキング設定	46
@GTK	トラッキング取得	46

## 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SEQ	出カイコライザ設定	46
@GEQ	出カイコライザ取得	46
@SDM	出力モード設定	47
@GDM	出力モード取得	47
@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力設定	47
@GUY	映像信号無入力時の同期信号出力取得	47
@SBO	映像信号無入力時の出力映像設定	48
@GBO	映像信号無入力時の出力映像取得	48
@SFF	フェードアウト/フェードイン設定	48
@GFF	フェードアウト/フェードイン取得	48
@SFT	フェードアウト/フェードイン時間設定	49
@GFT	フェードアウト/フェードイン時間取得	49
@SVO	映像出力端子設定	49
@GVO	映像出力端子取得	49
@SEN	HDCP 出力設定	50
@GEN	HDCP 出力取得	50
@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	50
@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	50
@SDC	Deep Color 出力設定	51
@GDC	Deep Color 出力取得	51
@SCE	CEC 接続設定	51
@GCE	CEC 接続取得	52

## 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SML	音声ミキシングレベル設定	52
@GML	音声ミキシングレベル取得	52
@SSL	音声出力レベル設定	53
@GSL	音声出力レベル取得	53
@SAM	音声出力ミュート設定	53
@GAM	音声出力ミュート取得	53
@SAS	音声入力選択設定	54
@GAS	音声入力選択取得	54
@SSO	音声入力レベル設定	54
@GSO	音声入力レベル取得	54
@SAC	デジタル音声出力のクロック設定	55
@GAC	デジタル音声出力のクロック取得	55
@SSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数設定	55
@GSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数取得	55
@SMX	音声ミキシング設定	56
@GMX	音声ミキシング取得	56
@SDO	デジタル音声出力端子設定	56
@GDO	デジタル音声出力端子取得	56
@SOA	各チャンネル毎の音声出力設定	57
@GOA	各チャンネル毎の音声出力取得	57
@SMD	マルチチャンネル音声出力設定	57
@GMD	マルチチャンネル音声出力取得	57

## EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SED	EDID データ設定	58
@GED	EDID データ取得	58
@SVF	EDID パソコン用解像度設定	59
@GVF	EDID パソコン用解像度取得	59
@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	60
@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	60
@SDI	Deep Color 入力設定	60
@GDI	Deep Color 入力取得	60
@SAF	音声フォーマット設定	61
@GAF	音声フォーマット取得	61
@SSP	スピーカ数設定	62
@GSP	スピーカ数取得	63
@RME	EDID データのコピー	63

## シリアル端子設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SCT	シリアル通信端子 通信設定	64
@GCT	シリアル通信端子 通信設定取得	64
@SCF	シリアル通信端子 動作モード設定	65
@GCF	シリアル通信端子 動作モード取得	65
@SCD	制御機器間 RS-232C 伝送設定	65
@GCD	制御機器間 RS-232C 伝送取得	65

## LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SIP	IP アドレス設定	66
@GIP	IP アドレス取得	66
@SSB	サブネットマスク設定	66
@GSB	サブネットマスク取得	66
@SGW	ゲートウェイアドレス設定	67
@GGW	ゲートウェイアドレス取得	67
@SLF	LAN 動作モード設定	68
@GLF	LAN 動作モード取得	69
@SLP	TCP ポート番号設定	70
@GLP	TCP ポート番号取得	70
@GMC	MAC アドレス取得	70

## 制御コマンド送信機能

コマンド	機能	詳細ページ
@EXC	制御コマンドの実行	71
@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)	71
@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)	73
@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)	74
@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)	75
@SEC	制御コマンド設定(CEC制御)	77
@GEC	制御コマンド取得(CEC制御)	78
@SRC	返信コマンド設定	79
@GRC	返信コマンド取得	79
@SCC	制御コマンド 関連付け設定	80
@GCC	制御コマンド 関連付け取得	80
@SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間設定	81
@GIT	制御コマンド実行時の操作無効時間取得	81
@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	81
@STF	表示機器電源スイッチ 点滅時間設定	81
@GTF	表示機器電源スイッチ 点滅時間取得	82

## プリセットメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@RCM	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	82
@SCM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を保存する	82
@GCM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する	83
@RCV	クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す	83
@SCV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を保存する	83
@GCV	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する	84
@RCA	クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す	84
@SCA	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を保存する	84
@GCA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する	85
@RPM	プリセットメモリから全設定を読み出す	85
@SPM	プリセットメモリに全設定を保存する	85
@SMU	電源投入時の状態設定	86
@GMU	電源投入時の状態取得	86

## パラレル入力(外部接点制御)

コマンド	機能	詳細ページ
@SPV	パラレル入力 音声レベル操作スイッチ設定	86
@GPV	パラレル入力 音声レベル操作スイッチ取得	86
@SPP	パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数設定	87
@GPP	パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数取得	87
@SPL	パラレル入力 ロック設定/解除	87
@GPL	パラレル入力 ロック状態取得	87
@SPN	パラレル入力 チャンネル切換モード設定	87
@GPN	パラレル入力 チャンネル切換モード取得	88
@SPT	パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作設定	88
@GPT	パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作取得	88
@SFP	チャタリング除去時間設定	88
@GFP	チャタリング除去時間取得	89

## ビットマップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SBM	ビットマップ画像の出力設定	89
@GBM	ビットマップ画像の出力取得	89
@SBB	ビットマップ バックカラー設定	89
@GBB	ビットマップ バックカラー取得	90
@STC	ビットマップ 透過色設定	90
@GTC	ビットマップ 透過色取得	90
@SZP	ビットマップ 拡大表示設定	91
@GZP	ビットマップ 拡大表示取得	91
@SBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て設定	91
@GBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て取得	92
@SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力設定	92
@GPB	電源投入時のビットマップ画像の出力取得	92

## その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SLS	キーロック設定/解除	92
@GLS	キーロック状態取得	92
@SLM	フロントパネル キーロック対象の設定	93
@GLM	フロントパネル キーロック対象の取得	93
@SBZ	ブザー音設定	93
@GBZ	ブザー音設定取得	93
@GSS	入出力ステータス取得	94
@GIV	バージョン情報取得	96

## 3.3 コマンド詳細

関連項目に記載される事項は、別冊の『ユーザズガイド』をご参照ください。

@ERR	エラーステータス		
コマンド書式	返り値のみ		
返り値書式	@ERR, <i>error</i> 		
パラメータ	<i>error</i> : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンド／またはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 4 = 制御コマンドが登録されていないため、実行できません。 5 = 制御コマンドを実行中のため、コマンドを処理することができません。 6 = 入力タイミングの自動計測に失敗しました。 7 = 表示機器からの EDID の読み出しに失敗しました。 8 = 制御コマンドが停止条件により停止しました。 9 = 制御コマンドがリトライオーバーにより停止しました。 10 = PJLink の制御コマンドがパスワードの不一致により停止しました。		
実行例	送	@SSW, 999, 1 	パラメータエラー。
	受	@ERR, 1 	
	送	@XYZ 	未定義のコマンド。
受	@ERR, 2 		
送	@RCM, 3 	データが登録されていないメモリ番号を指定。	
受	@ERR, 3 		

@SDS	表示機器電源スイッチ設定		
コマンド書式	@SDS, <i>onoff</i> [↵]		
返り値書式	@SDS, <i>onoff</i> [↵]		
パラメータ	<i>onoff</i> : 表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON		
実行例	送	@SDS, 1 [↵]	表示機器の電源スイッチを ON にする。
	受	@SDS, 1 [↵]	正常終了。
実行例	送	@SDS, 0 [↵]	表示機器の電源スイッチを OFF にする。
	受	@ERR, 10, 1 [↵]	コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスと出力番号が返されます。
関連項目	6.2 表示機器の電源のON/OFF		
注意事項	電源の制御が終了してから実行結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。		

@GDS	表示機器電源スイッチ取得		
コマンド書式	@GDS [↵]		
返り値書式	@GDS, <i>onoff</i> [↵]		
パラメータ	<i>onoff</i> : 表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON		
実行例	送	@GDS [↵]	表示機器の電源スイッチの状態を取得。
	受	@GDS, 1 [↵]	電源スイッチは ON
関連項目	6.2 表示機器の電源のON/OFF		

@SSW	映像・音声チャンネル同時切換		
コマンド書式	@SSW, <i>input, output</i> [↵]		
返り値書式	@SSW, <i>input, output</i> [↵]		
パラメータ	<i>input</i> : 映像・音声入力端子 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6		
	<i>output</i> : 映像・音声出力端子 映像・音声出力端子には必ず、1 を指定してください		
実行例	送	@SSW, 1, 1 [↵]	入力チャンネルに IN1 を選択する。
	受	@SSW, 1, 1 [↵]	正常終了。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択		

@GSW	入力チャンネル取得		
コマンド書式	@GSW [↵]		
返り値書式	@GSW, <i>video, audio</i> [↵]		
パラメータ	<i>video</i> : 映像入力チャンネル		
	<i>audio</i> : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6		
実行例	送	@GSW [↵]	入力チャンネルの状態を取得。
	受	@GSW, 1, 1 [↵]	入力チャンネルは映像・音声ともに IN1。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択		

<b>@SSV</b>	<b>映像チャンネル切換</b>	
コマンド書式	@SSV, <i>input</i> , <i>output</i> 	
返り値書式	@SSV, <i>input</i> , <i>output</i> 	
パラメータ	<i>input</i> : 映像入力端子 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
	<i>output</i> : 映像出力端子 映像出力端子には必ず、1 を指定してください	
実行例	送 @SSV, 1, 1  受 @SSV, 1, 1 	入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択	

<b>@GSV</b>	<b>映像チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSV 	
返り値書式	@GSV, <i>output</i> 	
パラメータ	<i>output</i> : 映像入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
実行例	送 @GSV  受 @GSV, 1 	映像の入力チャンネルの状態を取得。 映像の入力チャンネルは IN1。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択	

<b>@SSA</b>	<b>音声チャンネル切換</b>	
コマンド書式	@SSA, <i>input</i> , <i>output</i> 	
返り値書式	@SSA, <i>input</i> , <i>output</i> 	
パラメータ	<i>input</i> : 音声入力端子 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
	<i>output</i> : 音声出力端子 音声出力端子には必ず、1 を指定してください	
実行例	送 @SSA, 1, 1  受 @SSA, 1, 1 	入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択	

<b>@GSA</b>	<b>音声チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSA 	
返り値書式	@GSA, <i>output</i> 	
パラメータ	<i>output</i> : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
実行例	送 @GSA  受 @GSA, 1 	音声の入力チャンネルの状態を取得。 音声の入力チャンネルは IN1。
関連項目	6.3 入力チャンネルの選択	

@SOT	出力解像度設定	
コマンド書式	@SOT, <i>ch</i> , <i>resolution</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOT, <i>ch</i> , <i>resolution</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>resolution</i> : 出力解像度 0 = VGA@60 (640x480),                      1 = SVGA@60 (800x600), 2 = XGA@60 (1024x768),                    3 = WXGA@60 (1280x768), 4 = WXGA@60 (1280x800),                  5 = Quad-VGA@60 (1280x960), 6 = SXGA@60 (1280x1024),                7 = WXGA@60 (1360x768), 8 = WXGA@60 (1366x768),                9 = SXGA+@60 (1400x1050), 10 = WXGA+@60 (1440x900),              11 = WXGA++@60 (1600x900), 12 = UXGA@60 (1600x1200),              13 = WSXGA+@60 (1680x1050), 14 = WUXGA@60 (1920x1200),            15 = 480i@59.94 (720x480), 16 = 480p@59.94 (720x480),            17 = 576i@50 (720x576), 18 = 576p@50 (720x576),                19 = 720p@50 (1280x720), 20 = 720p@59.94 (1280x720),          21 = 720p@60 (1280x720), 22 = 1080i@50 (1920x1080),            23 = 1080i@59.94 (1920x1080) ※初期値, 24 = 1080i@60 (1920x1080),            25 = 1080p@50 (1920x1080), 26 = 1080p@59.94 (1920x1080),       27 = 1080p@60 (1920x1080)	
実行例	送 @SOT, 1, 9 <input type="checkbox"/> 受 @SOT, 1, 9 <input type="checkbox"/>	出力解像度を SXGA+ に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.1 出力解像度	

@GOT	出力解像度取得	
コマンド書式	@GOT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOT, <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : 出力解像度 0 = VGA@60 (640x480),                      1 = SVGA@60 (800x600), 2 = XGA@60 (1024x768),                    3 = WXGA@60 (1280x768), 4 = WXGA@60 (1280x800),                  5 = Quad-VGA@60 (1280x960), 6 = SXGA@60 (1280x1024),                7 = WXGA@60 (1360x768), 8 = WXGA@60 (1366x768),                9 = SXGA+@60 (1400x1050), 10 = WXGA+@60 (1440x900),              11 = WXGA++@60 (1600x900), 12 = UXGA@60 (1600x1200),              13 = WSXGA+@60 (1680x1050), 14 = WUXGA@60 (1920x1200),            15 = 480i@59.94 (720x480), 16 = 480p@59.94 (720x480),            17 = 576i@50 (720x576), 18 = 576p@50 (720x576),                19 = 720p@50 (1280x720), 20 = 720p@59.94 (1280x720),          21 = 720p@60 (1280x720), 22 = 1080i@50 (1920x1080),            23 = 1080i@59.94 (1920x1080) ※初期値, 24 = 1080i@60 (1920x1080),            25 = 1080p@50 (1920x1080), 26 = 1080p@59.94 (1920x1080),       27 = 1080p@60 (1920x1080)	
実行例	送 @GOT <input type="checkbox"/> 受 @GOT, 6 <input type="checkbox"/>	出力解像度を取得。 出力解像度は SXGA。
関連項目	7.3.1 出力解像度	

@SUM	表示機器 アスペクト比設定	
コマンド書式	@SUM, <i>ch</i> , <i>aspect</i> 	
返り値書式	@SUM, <i>ch</i> , <i>aspect</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>aspect</i> : 表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @SUM, 1, 4 	16:9 の表示機器を接続する。
	受 @SUM, 1, 4 	正常終了。
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	

@GUM	表示機器 アスペクト比取得	
コマンド書式	@GUM 	
返り値書式	@GUM, <i>out</i> 	
パラメータ	<i>out</i> : 表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @GUM 	接続されている表示機器のアスペクト比を取得。
	受 @GUM, 4 	アスペクト比は 16:9。
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	

@SAP	アスペクト比設定	
コマンド書式	@SAP, <i>ch_1</i> , <i>aspect_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>aspect_2</i> ...) 	
返り値書式	@SAP, <i>ch_1</i> , <i>aspect_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>aspect_2</i> ...) 	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>aspect_1-6</i> : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @SAP, 6, 2 	IN6 のアスペクト比を 4:3 に設定する。
	受 @SAP, 6, 2 	正常終了。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

@GAP	アスペクト比取得	
コマンド書式	@GAP 	
返り値書式	@GAP, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> 	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比設定 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @GAP 	各入力のアスペクト比を取得。
	受 @GAP, 0, 0, 2, 0, 0, 0 	IN3 は 4:3、その他の入力 は AUTO-1。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

@SAR	アスペクト比復元処理設定	
コマンド書式	@SAR, <i>ch_1</i> , <i>mode_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAR, <i>ch_1</i> , <i>mode_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 ----- <i>mode_1-6</i> : アスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @SAR, 5, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SAR, 5, 1 <input type="checkbox"/>	IN5 をサイドカット/トップボトムカットに設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

@GAR	アスペクト比復元処理取得	
コマンド書式	@GAR <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAR, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @GAR <input type="checkbox"/> 受 @GAR, 0, 0, 1, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	各入力のアスペクト比の復元処理を取得する。 IN3 は サイドカット/トップボトムカット、その他の入力はレターボックス/サイドパネル。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

@SOV	オーバースキャン設定	
コマンド書式	@SOV, <i>ch_1</i> , <i>overscan_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOV, <i>ch_1</i> , <i>overscan_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 ----- <i>overscan_1-6</i> : オーバースキャン 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号 (NTSC/PAL/SDTV) の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号 (HDTV) またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @SOV, 6, 105 <input type="checkbox"/> 受 @SOV, 6, 105 <input type="checkbox"/>	IN6 のオーバースキャンを 105% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

@GOV	オーバースキャン取得	
コマンド書式	@GOV <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOV, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのオーバースキャン設定 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号 (NTSC/PAL/SDTV) の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号 (HDTV) またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @GOV <input type="checkbox"/> 受 @GOV, 100, 100, 105, 100, 100, 100 <input type="checkbox"/>	各入力のオーバースキャンを取得。 IN3 は 105%、その他の入力は 100%。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

@SNP	入力表示位置設定	
コマンド書式	@SNP, <i>ch_1</i> , <i>h_position_1</i> , <i>v_position_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>h_position_2</i> , <i>v_position_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNP, <i>ch_1</i> , <i>h_position_1</i> , <i>v_position_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>h_position_2</i> , <i>v_position_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6	
	<i>h_position_1-6</i> : 水平入力表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_position_1-6</i> : 垂直入力表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @SNP, 1, -50, 20 <input type="checkbox"/> 受 @SNP, 1, -50, 20 <input type="checkbox"/>	IN1 の水平表示位置を-50、垂直表示位置を+20 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@GNP	入力表示位置取得	
コマンド書式	@GNP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GNP, <i>h_in_1</i> , <i>v_in_1</i> , <i>h_in_2</i> , <i>v_in_2</i> , <i>h_in_3</i> , <i>v_in_3</i> , <i>h_in_4</i> , <i>v_in_4</i> , <i>h_in_5</i> , <i>v_in_5</i> , <i>h_in_6</i> , <i>v_in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_in1-6</i> : 各入力チャンネルの水平入力表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_in1-6</i> : 各入力チャンネルの垂直入力表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @GNP <input type="checkbox"/> 受 @GNP, -50, 20, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	入力表示位置を取得。 IN1 の水平表示位置は-50、垂直表示位置は 20、その他の入力の水平、垂直表示位置は全て0。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@SNS	入力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SNS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6	
	<i>h_size_1-6</i> : 水平入力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 100 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_size_1-6</i> : 垂直入力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 100 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @SNS, 1, 1925, 1084 <input type="checkbox"/> 受 @SNS, 1, 1925, 1084 <input type="checkbox"/>	IN1 の水平表示サイズを 1925、垂直表示サイズを 1084 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@GNS	入力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GNS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GNS, <i>h_in_1</i> , <i>v_in_1</i> , <i>h_in_2</i> , <i>v_in_2</i> , <i>h_in_3</i> , <i>v_in_3</i> , <i>h_in_4</i> , <i>v_in_4</i> , <i>h_in_5</i> , <i>v_in_5</i> , <i>h_in_6</i> , <i>v_in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_in_1-6</i> : 各入力チャンネルの水平入力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 100 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_in_1-6</i> : 各入力チャンネルの垂直入力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 100 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @GNS <input type="checkbox"/> 受 @GNS, 1925, 1084, 1920, 1080, 1920, 1080, 1920, 1080, 1920, 1080, 1920, 1080 <input type="checkbox"/>	入力表示サイズを取得。 IN1 の水平表示サイズは 1925、垂直表示サイズは 1084、その他の入力の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@SNM	入力マスキング設定	
コマンド書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 6 = IN6	
	<i>left</i> : 入力左側マスキング 水平入力表示位置 ~ 入力右側マスキング ※初期値 0	
	<i>right</i> : 入力右側マスキング 入力左側マスキング ~ 水平入力表示位置 + 水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ	
	<i>top</i> : 入力上側マスキング 垂直入力表示位置 ~ 入力下側マスキング ※初期値 0	
	<i>bottom</i> : 入力下側マスキング 入力上側マスキング ~ 垂直入力表示位置 + 垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	送 @SNM, 1, 0, 1920, 0, 1080 <input type="checkbox"/> 受 @SNM, 1, 0, 1920, 0, 1080 <input type="checkbox"/>	IN1 のマスキングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.8 入力マスキング	

@GNM	入力マスク取得	
コマンド書式	@GNM, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GNM, <i>ch, left, right, top, bottom</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>left</i> : 入力左側マスク 水平入力表示位置 ~ 入力右側マスク ※初期値 0 <hr/> <i>right</i> : 入力右側マスク 入力左側マスク ~ 水平入力表示位置 + 水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ <hr/> <i>top</i> : 入力上側マスク 垂直入力表示位置 ~ 入力下側マスク ※初期値 0 <hr/> <i>bottom</i> : 入力下側マスク 入力上側マスク ~ 垂直入力表示位置 + 垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	送 @GNM, 1 <input type="checkbox"/> 受 @GNM, 1, 0, 1920, 0, 1080 <input type="checkbox"/>	IN1 のマスクを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7.3.8 入力マスク	

@IAS	入力オートサイジング	
コマンド書式	@IAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@IAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6	
実行例	送 @IAS, 1 <input type="checkbox"/> 受 @IAS, 1 <input type="checkbox"/>	IN1 から入力された映像が表示機器いっぱいに表示されるよう、@SAP アスペクト比設定 (P. 24)、@SOV オーバースキャン設定 (P. 25)、@SNP 入力表示位置設定 (P. 26)、@SNS 入力表示サイズ設定 (P. 26)、@SNM 入力マスク設定 (P. 27) を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.3.9 入力オートサイジング	

@SOP	出力表示位置設定	
コマンド書式	@SOP, <i>ch, h_position, v_position</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOP, <i>ch, h_position, v_position</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>h_position</i> : 水平出力表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0 <hr/> <i>v_position</i> : 垂直出力表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @SOP, 1, 5, 20 <input type="checkbox"/> 受 @SOP, 1, 5, 20 <input type="checkbox"/>	水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	

@GOP	出力表示位置取得	
コマンド書式	@GOP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOP, <i>h_out</i> , <i>v_out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_out</i> : 水平出力表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_out</i> : 垂直出力表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送	@GOP <input type="checkbox"/> 出力表示位置を取得。
	受	@GOP, 5, 20 <input type="checkbox"/> 水平表示位置は+5、垂直表示位置は+20。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	

@SOS	出力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SOS, <i>ch</i> , <i>h_size</i> , <i>v_size</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOS, <i>ch</i> , <i>h_size</i> , <i>v_size</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>h_size</i> : 水平出力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 100 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_size</i> : 垂直出力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 100 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送	@SOS, 1, 1920, 1080 <input type="checkbox"/> 水平表示サイズを 1920、垂直表示サイズを 1080 に設定する。
	受	@SOS, 1, 1920, 1080 <input type="checkbox"/> 正常終了。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	

@GOS	出力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GOS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOS, <i>h_out</i> , <i>v_out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_out</i> : 水平出力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 100 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_out</i> : 垂直出力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 100 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送	@GOS <input type="checkbox"/> 出力表示サイズを取得。
	受	@GOS, 1920, 1035 <input type="checkbox"/> 水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1035。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	

@SOM	出力マスキング設定		
コマンド書式	@SOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
返り値書式	@SOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください		
	<i>left</i> : 出力左側マスキング 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスキング ※初期値 0		
	<i>right</i> : 出力右側マスキング 出力左側マスキング ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度		
	<i>top</i> : 出力上側マスキング 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスキング ※初期値 0		
	<i>bottom</i> : 出力下側マスキング 出力上側マスキング ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度		
実行例	送	@SOM, 1, 0, 1920, 0, 1080 	マスキングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定する。
	受	@SOM, 1, 0, 1920, 0, 1080 	正常終了。
関連項目	7. 3. 12 出力マスキング		

@GOM	出力マスキング取得		
コマンド書式	@GOM, <i>ch</i> 		
返り値書式	@GOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください		
	<i>left</i> : 出力左側マスキング 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスキング ※初期値 0		
	<i>right</i> : 出力右側マスキング 出力左側マスキング ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度		
	<i>top</i> : 出力上側マスキング 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスキング ※初期値 0		
	<i>bottom</i> : 出力下側マスキング 出力上側マスキング ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度		
実行例	送	@GOM, 1 	出力マスキングを取得。
	受	@GOM, 1, 0, 1920, 0, 1080 	左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7. 3. 12 出力マスキング		

@OAS	出力オートサイジング	
コマンド書式	@OAS, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@OAS, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
実行例	送 @OAS, 1 <input type="checkbox"/> 受 @OAS, 1 <input type="checkbox"/>	出力映像が表示機器いっぱいに表示されるよう、@SOP 出力表示位置設定 (P. 28)、@SOS 出力表示サイズ設定 (P. 29)、@SOM 出力マスキング設定 (P. 30) を初期化する。 正常終了。
関連項目	7. 3. 13 出力オートサイジング	

@SBC	バックカラー設定	
コマンド書式	@SBC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください  <i>red</i> : バックカラー (赤) <i>green</i> : バックカラー (緑) <i>blue</i> : バックカラー (青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SBC, 1, 128, 128, 128 <input type="checkbox"/> 受 @SBC, 1, 128, 128, 128 <input type="checkbox"/>	バックカラーを RGB とともに 128 (灰色) に設定する。 正常終了。
関連項目	7. 3. 14 バックカラー	

@GBC	バックカラー取得	
コマンド書式	@GBC, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください  <i>red</i> : バックカラー (赤) <i>green</i> : バックカラー (緑) <i>blue</i> : バックカラー (青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GBC, 1 <input type="checkbox"/> 受 @GBC, 1, 128, 128, 128 <input type="checkbox"/>	バックカラーを取得。 RGB とともに 128 (灰色)。
関連項目	7. 3. 14 バックカラー	

@STP	テストパターン設定	
コマンド書式	@STP, <i>ch</i> , <i>pattern</i> 	
返り値書式	@STP, <i>ch</i> , <i>pattern</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>pattern</i> : テストパターン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = COLOR BAR, 2 = GRAY SCALE, 3 = LAMP, 4 = 100% WHITE RASTER, 5 = 50% WHITE RASTER, 6 = 100% RED RASTER, 7 = 100% GREEN RASTER, 8 = 100% BLUE RASTER, 9 = CROSS HATCH, 10 = OUTPUT FRAME, 11 = VERTICAL STRIPE, 12 = HORIZONTAL STRIPE	
実行例	送 @STP, 1, 4  受 @STP, 1, 4 	100% WHITE RASTER を表示する。 正常終了。
関連項目	7.3.15 テストパターン	

@GTP	テストパターン取得	
コマンド書式	@GTP 	
返り値書式	@GTP, <i>out</i> 	
パラメータ	<i>out</i> : テストパターン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = COLOR BAR, 2 = GRAY SCALE, 3 = LAMP, 4 = 100% WHITE RASTER, 5 = 50% WHITE RASTER, 6 = 100% RED RASTER, 7 = 100% GREEN RASTER, 8 = 100% BLUE RASTER, 9 = CROSS HATCH, 10 = OUTPUT FRAME, 11 = VERTICAL STRIPE, 12 = HORIZONTAL STRIPE	
実行例	送 @GTP  受 @GTP, 5 	テストパターン設定を取得する。 50% WHITE RASTER を出力している。
関連項目	7.3.15 テストパターン	

@SFL	シャープネス設定	
コマンド書式	@SFL, <i>ch_1</i> , <i>sharp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>sharp_2</i> ...) 	
返り値書式	@SFL, <i>ch_1</i> , <i>sharp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>sharp_2</i> ...) 	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>sharp_1-6</i> : シャープネス -5 ~ +15 ※初期値 0	
実行例	送 @SFL, 1, 5  受 @SFL, 1, 5 	IN1 のシャープネスを+5 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.1 シャープネス	

@GFL	シャープネス取得	
コマンド書式	@GFL 	
返り値書式	@GFL, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> 	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのシャープネス -5 ~ +15 ※初期値 0	
実行例	送 @GFL  受 @GFL, 5, 0, 0, 0, 0, 0 	シャープネス設定を取得。 IN1 は+5、その他の入力 は 0。
関連項目	7.4.1 シャープネス	

@SBR	入カブライツネス設定	
コマンド書式	@SBR, <i>ch_1</i> , <i>bright_1</i> , (, <i>ch_2</i> , <i>bright_2</i> ...) ☐	
返り値書式	@SBR, <i>ch_1</i> , <i>bright_1</i> , (, <i>ch_2</i> , <i>bright_2</i> ...) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入カチャンネル 0 = 全入カ, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>bright_1-6</i> : ブライツネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SBR, 3, 110☐ 受 @SBR, 3, 110☐	IN3 のブライツネスを 110% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.2 入カブライツネス	

@GBR	入カブライツネス取得	
コマンド書式	@GBR ☐	
返り値書式	@GBR, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> ☐	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入カチャンネルのブライツネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GBR☐ 受 @GBR, 110, 100, 100, 100, 100, 100☐	ブライツネス設定を取得。 IN1 は 110%、その他の入カは 100%。
関連項目	7.4.2 入カブライツネス	

@SCO	入カコントラスト設定	
コマンド書式	@SCO, <i>ch_1</i> , <i>r_1</i> , <i>g_1</i> , <i>b_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>r_2</i> , <i>g_2</i> , <i>b_2</i> ...) ☐	
返り値書式	@SCO, <i>ch_1</i> , <i>r_1</i> , <i>g_1</i> , <i>b_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>r_2</i> , <i>g_2</i> , <i>b_2</i> ...) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入カチャンネル 0 = 全入カ, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>r_1-6</i> : コントラスト(赤) <i>g_1-6</i> : コントラスト(緑) <i>b_1-6</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SCO, 3, 105, 100, 95☐ 受 @SCO, 3, 105, 100, 95☐	IN3 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.3 入カコントラスト	

@GCO	入カコントラスト取得	
コマンド書式	@GCO, <i>ch</i> ☐	
返り値書式	@GCO, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ☐	
パラメータ	<i>ch</i> : 入カチャンネル 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>red</i> : コントラスト(赤) <i>green</i> : コントラスト(緑) <i>blue</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GCO, 3☐ 受 @GCO, 3, 105, 100, 95☐	IN3 のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.4.3 入カコントラスト	

@SHU	色相(HUE)設定		
コマンド書式	@SHU, <i>ch_1</i> , <i>hue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hue_2</i> ····) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SHU, <i>ch_1</i> , <i>hue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hue_2</i> ····) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6		
	<i>hue_1-6</i> : 色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0		
実行例	送	@SHU, 1, 60 <input type="checkbox"/>	IN1の色相を60°に設定する。 正常終了。
	受	@SHU, 1, 60 <input type="checkbox"/>	
	送	@SHU, 2, 60 <input type="checkbox"/>	色差信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
	受	@ERR, 3 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.4.4 色相 (HUE)		
注意事項	色差信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GHU	色相(HUE)取得		
コマンド書式	@GHU <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GHU, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルの色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0		
実行例	送	@GHU <input type="checkbox"/>	色相設定を取得。 IN1は60°、その他の入力は0°。
	受	@GHU, 60, 0, 0, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.4.4 色相 (HUE)		

@SST	サチレーション(彩度)設定		
コマンド書式	@SST, <i>ch_1</i> , <i>saturation_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>saturation_2</i> ····) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SST, <i>ch_1</i> , <i>saturation_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>saturation_2</i> ····) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6		
	<i>saturation_1-6</i> : サチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100		
実行例	送	@SST, 5, 105 <input type="checkbox"/>	IN5のサチレーションを105%に設定する。 正常終了。
	受	@SST, 5, 105 <input type="checkbox"/>	
	送	@SST, 6, 105 <input type="checkbox"/>	色差信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
	受	@ERR, 3 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.4.5 彩度 (SATURATION)		
注意事項	色差信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。		

@GST	サチレーション(彩度)取得		
コマンド書式	@GST <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GST, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのサチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100		
実行例	送	@GST <input type="checkbox"/>	サチレーションを取得する。 IN5は105%、その他の入力は100%。
	受	@GST, 100, 100, 100, 100, 105, 100, <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.4.5 彩度 (SATURATION)		

@SSU	セットアップレベル設定	
コマンド書式	@SSU, <i>ch_1</i> , <i>setup_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>setup_2</i> ···)	
返り値書式	@SSU, <i>ch_1</i> , <i>setup_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>setup_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>setup_1-6</i> : セットアップレベル -20 = $-20 \times 0.5 (-10.0\%)$ ~ +20 = $+20 \times 0.5 (+10.0\%)$ ※初期値 $\pm 0 = \pm 0.0\%$	
実行例	送 @SSU, 5, 15 受 @SSU, 5, 15 送 @SSU, 6, 15 受 @ERR, 3	IN5 のセットアップレベルを+7.5%に設定する。 正常終了。 色差信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.4.6 セットアップレベル	
注意事項	色差信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。	

@GSU	セットアップレベル取得	
コマンド書式	@GSU	
返り値書式	@GSU, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i>	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルのセットアップレベル -20 = $-20 \times 0.5 (-10.0\%)$ ~ +20 = $+20 \times 0.5 (+10.0\%)$ ※初期値 $\pm 0 = \pm 0.0\%$	
実行例	送 @GSU 受 @GSU, 0, 0, 0, 0, 15, 0	セットアップレベルを取得する。 IN5 は+7.5%、その他の入力は0%。
関連項目	7.4.6 セットアップレベル	

@IDC	入力デフォルトカラー	
コマンド書式	@IDC, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ···)	
返り値書式	@IDC, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6	
実行例	送 @IDC, 1 受 @IDC, 1	IN1 の@SFL シャープネス設定 (P. 32)、@SBR 入力ブライトネス設定 (P. 33)、@SCO 入力コントラスト設定 (P. 33)、@SHU 色相 (HUE) 設定 (P. 34)、@SST サチレーション(彩度)設定 (P. 34)、@SSU セットアップレベル設定 (P. 35)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.4.7 入力デフォルトカラー	

@SOB	出力ブライトネス設定	
コマンド書式	@SOB, <i>ch</i> , <i>bright</i>	
返り値書式	@SOB, <i>ch</i> , <i>bright</i>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1を指定してください <hr/> <i>bright</i> : ブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SOB, 1, 110 受 @SOB, 1, 110	出力のブライトネスを 110%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.8 出力ブライトネス	

<b>@GOB</b>	<b>出力ブライテネス取得</b>	
コマンド書式	@GOB ☐	
返り値書式	@GOB, out ☐	
パラメータ	out : ブライテネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GOB☐ 受 @GOB, 110☐	出力のブライテネス設定を取得。 ブライテネスは 110%
関連項目	7.4.8 出力ブライテネス	

<b>@SOC</b>	<b>出力コントラスト設定</b>	
コマンド書式	@SOC, ch, red, green, blue ☐	
返り値書式	@SOC, ch, red, green, blue ☐	
パラメータ	ch_1-3 : 出力 出力には必ず、1 を指定してください red : コントラスト(赤) green : コントラスト(緑) blue : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SOC, 1, 105, 100, 95☐ 受 @SOC, 1, 105, 100, 95☐	出力のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.9 出力コントラスト	

<b>@GOC</b>	<b>出力コントラスト取得</b>	
コマンド書式	@GOC, ch ☐	
返り値書式	@GOC, ch, red, green, blue ☐	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず、1 を指定してください red : コントラスト(赤) green : コントラスト(緑) blue : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GOC, 1☐ 受 @GOC, 1, 105, 100, 95☐	出力のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.4.9 出力コントラスト	

<b>@SGM</b>	<b>ガンマ設定</b>	
コマンド書式	@SGM, ch, gamma ☐	
返り値書式	@SGM, ch, gamma ☐	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず、1 を指定してください gamma : ガンマ 1 = 0.1 ~ 30 = 3.0 ※初期値 10 = 1.0	
実行例	送 @SGM, 1, 22☐ 受 @SGM, 1, 22☐	ガンマを 2.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.10 ガンマ	

<b>@GGM</b>	<b>ガンマ取得</b>	
コマンド書式	@GGM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GGM, <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : ガンマ 1 = 0.1 ~ 30 = 3.0 ※初期値 10 = 1.0	
実行例	送 @GGM <input type="checkbox"/>	ガンマを取得する。
	受 @GGM, 22 <input type="checkbox"/>	ガンマは 2.2
関連項目	7.4.10 ガンマ	

<b>@ODC</b>	<b>出力デフォルトカラー</b>	
コマンド書式	@ODC, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@ODC, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
実行例	送 @ODC, 1 <input type="checkbox"/>	@SOB 出力ブライトネス設定 (P. 35)、@SOC 出力コントラスト設定 (P. 36)、@SGM ガンマ設定 (P. 36) を初期化する。
	受 @ODC, 1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.4.11 出力デフォルトカラー	

<b>@SIQ</b>	<b>入力コライザ設定</b>	
コマンド書式	@SIQ, <i>ch_1</i> , <i>level_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SIQ, <i>ch_1</i> , <i>level_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 ----- <i>level_1-3</i> : 入力コライザー 0(弱い補正) ~ 24(強い補正), 25(自動補正) ※初期値	
実行例	送 @SIQ, 3, 25 <input type="checkbox"/>	IN3 の入力コライザーを自動に設定する。
	受 @SIQ, 3, 25 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.5.1 入力コライザ	

<b>@GIQ</b>	<b>入力コライザ取得</b>	
コマンド書式	@GIQ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIQ, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの入力コライザー 0(弱い補正) ~ 24(強い補正), 25(自動補正) ※初期値	
実行例	送 @GIQ <input type="checkbox"/>	入力コライザーを取得。
	受 @GIQ, 25, 25, 7 <input type="checkbox"/>	IN3 は 7(手動)、その他は自動。
関連項目	7.5.1 入力コライザ	

@SAI	アナログ入力 信号種別設定	
コマンド書式	@SAI, <i>ch_1</i> , <i>type_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>type_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAI, <i>ch_1</i> , <i>type_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>type_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 4 = IN4 ~ 6 = IN6 ----- <i>type_1-3</i> : 信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, 3 = VIDEO	
実行例	送 @SAI, 0, 2 <input type="checkbox"/> 受 @SAI, 0, 2 <input type="checkbox"/>	全入力チャンネルの信号種別を YPbPr に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.2 アナログ入力 信号種別	

@GAI	アナログ入力 信号種別取得	
コマンド書式	@GAI <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAI, <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_4-6</i> : 各入力チャンネルの信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, 3 = VIDEO	
実行例	送 @GAI <input type="checkbox"/> 受 @GAI, 0, 0, 2 <input type="checkbox"/>	アナログ入力の信号種別を取得。 IN6 は YPbPr、その他の入力 は AUTO。
関連項目	7.5.2 アナログ入力 信号種別	

@SDT	デジタル信号の無入力監視設定	
コマンド書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 ----- <i>time_1-3</i> : 監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 100ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます (例えば 2955 と指定すると、2900ms に設定されます)	
実行例	送 @SDT, 3, 6000 <input type="checkbox"/> 受 @SDT, 3, 6000 <input type="checkbox"/>	IN3 の無入力監視時間を 6000ms (6 秒) に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.3 デジタル信号の無入力監視	

@GDT	デジタル信号の無入力監視取得	
コマンド書式	@GDT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDT, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒	
実行例	送 @GDT <input type="checkbox"/> 受 @GDT, 6000, 10000, 10000 <input type="checkbox"/>	入力映像信号の無入力監視時間を取得。 IN1 は 6000ms (6 秒)、その他の入力 は 10000ms (10 秒)。
関連項目	7.5.3 デジタル信号の無入力監視	

@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	
コマンド書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 <hr/> <i>hdcp_1-3</i> : HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE (許可しない), 1 = ENABLE (許可する) ※初期値	
実行例	送 @SHE, 1, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SHE, 1, 0 <input type="checkbox"/>	IN1 の HDCP 入力を許可しない。 正常終了。
関連項目	7.5.4 HDCP入力の許可/禁止	

@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	
コマンド書式	@GHE <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GHE, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの HDCP 入力 0 = DISABLE (許可しない), 1 = ENABLE (許可する) ※初期値	
実行例	送 @GHE <input type="checkbox"/> 受 @GHE, 1, 1, 0 <input type="checkbox"/>	HDCP 入力の許可/禁止設定を取得。 IN3 は HDCP 入力を許可しない、その他の入力は HDCP 入力を許可する
関連項目	7.5.4 HDCP入力の許可/禁止	

@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	
コマンド書式	@SID, <i>ch_1</i> , <i>detect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>detect_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SID, <i>ch_1</i> , <i>detect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>detect_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>detect_1-6</i> : 自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SID, 6, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SID, 6, 0 <input type="checkbox"/>	IN6 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。 正常終了。
関連項目	7.5.5 入力映像信号OFFの自動検出	

@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	
コマンド書式	@GID <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GID, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルの自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GID <input type="checkbox"/> 受 @GID, 1, 1, 1, 1, 1, 0 <input type="checkbox"/>	入力映像信号 OFF の自動検出設定を取得。 IN6 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない、その他の入力は OFF にする。
関連項目	7.5.5 入力映像信号OFFの自動検出	

@SHT	水平総ドット数設定	
コマンド書式	@SHT, <i>ch</i> , <i>h_total</i> [↵]	
返り値書式	@SHT, <i>ch</i> , <i>h_total</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6 <hr/> <i>h_total</i> : 水平総ドット数 800 ~ 4095 (ただしインターレース信号が入力されている場合はサンプリングクロックが 13MHz~81MHz の範囲内、ノンインターレース信号が入力されている場合はサンプリングクロックが 13MHz~162MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHT, 5, 1344 [↵] 受 @SHT, 5, 1344 [↵] 送 @SHT, 6, 1344 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	IN5 の水平総ドット数を 1344 に設定する。 正常終了。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7. 6. 1 水平総ドット数	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GHT	水平総ドット数取得	
コマンド書式	@GHT [↵]	
返り値書式	@GHT, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルの水平総ドット数 800 ~ 4095 (ただしインターレース信号が入力されている場合はサンプリングクロックが 13MHz~81MHz の範囲内、ノンインターレース信号が入力されている場合はサンプリングクロックが 13MHz~162MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHT [↵] 受 @GHT, 2200, 2200, 0, 2640, 1344, 1792 [↵]	水平総ドット数を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返されます。
関連項目	7. 6. 1 水平総ドット数	

@SHS	水平取り込み開始位置設定	
コマンド書式	@SHS, <i>ch</i> , <i>h_start</i> [↵]	
返り値書式	@SHS, <i>ch</i> , <i>h_start</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>h_start</i> : 水平取り込み開始位置 10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数 - 水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHS, 5, 296 [↵] 受 @SHS, 5, 296 [↵] 送 @SHS, 6, 296 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	IN5 の水平取り込み開始位置を 296 に設定する。 正常終了。 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7. 6. 2 水平取り込み開始位置	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@GHS</b>	<b>水平取り込み開始位置取得</b>	
コマンド書式	@GHS [ ]	
返り値書式	@GHS, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6 [ ]	
パラメータ	in_1-6 : 各入力チャンネルの水平取り込み開始位置 10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHS [ ] 受 @GHS, 192, 192, 496, 0, 296, 0 [ ]	水平取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返されま す。
関連項目	7.6.2 水平取り込み開始位置	

<b>@SHD</b>	<b>水平表示期間設定</b>	
コマンド書式	@SHD, ch, h_disp [ ]	
返り値書式	@SHD, ch, h_disp [ ]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 ----- h_disp : 水平表示期間 10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHD, 5, 1024 [ ] 受 @SHD, 5, 1024 [ ]	IN5 の水平表示期間を 1024 に設定する。 正常終了。
	送 @SHD, 6, 1024 [ ] 受 @ERR, 3 [ ]	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.6.3 水平表示期間	
注意事項	信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。	

<b>@GHD</b>	<b>水平表示期間取得</b>	
コマンド書式	@GHD [ ]	
返り値書式	@GHD, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6 [ ]	
パラメータ	in_1-6 : 各入力チャンネルの水平表示期間 10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHD [ ] 受 @GHD, 1920, 1920, 0, 1920, 1024, 1360 [ ]	水平表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返されます。
関連項目	7.6.3 水平表示期間	

<b>@SVS</b>	<b>垂直取り込み開始位置設定</b>		
コマンド書式	<b>@SVS, ch, v_start</b>		
返り値書式	<b>@SVS, ch, v_start</b>		
パラメータ	<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6</p> <hr/> <p>v_start : 垂直取り込み開始位置 [インターレース信号が入力されている場合] 16 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) [ノンインターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります</p>		
実行例	送	@SVS, 5, 35	IN5 の垂直取り込み開始位置を 35 に設定する。
	受	@SVS, 5, 35	正常終了。
	送	@SVS, 6, 35	信号が入力されていない場合は、エラーが返されま す。
	受	@ERR, 3	
関連項目	7. 6. 4 垂直取り込み開始位置		
注意事項	信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。		

<b>@GVS</b>	<b>垂直取り込み開始位置取得</b>		
コマンド書式	<b>@GVS</b>		
返り値書式	<b>@GVS, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6</b>		
パラメータ	<p>in_1-6 : 各入力チャンネルの垂直取り込み開始位置 [インターレース信号が入力されている場合] 16 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) [ノンインターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります</p>		
実行例	送	@GVS	垂直取り込み開始位置を取得。
	受	@GVS, 40, 0, 40, 40, 35, 0	信号が入力されていないチャンネルは0が返されます。
関連項目	7. 6. 4 垂直取り込み開始位置		

@SVD	垂直表示期間設定	
コマンド書式	@SVD, <i>ch</i> , <i>v_disp</i> [↵]	
返り値書式	@SVD, <i>ch</i> , <i>v_disp</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>v_disp</i> : 垂直表示期間 [インターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 1280 (ただし垂直総ライン数-16 以下) [ノンインターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SVD, 5, 768 [↵] 受 @SVD, 5, 768 [↵]	IN5 の垂直表示期間を 768 に設定する。 正常終了。
	送 @SVD, 6, 768 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.6.5 垂直表示期間	
注意事項	信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。	

@GVD	垂直表示期間取得	
コマンド書式	@GVD [↵]	
返り値書式	@GVD, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルの垂直表示期間 [インターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 1280 (ただし垂直総ライン数-16 以下) [ノンインターレース信号が入力されている場合] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GVD [↵] 受 @GVD, 0, 1080, 1080, 900, 768, 0 [↵]	垂直表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返されます。
関連項目	7.6.5 垂直表示期間	

@AIS	自動計測	
コマンド書式	@AIS, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@AIS, <i>ch</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
実行例	送 @AIS, 1 [↵] 受 @AIS, 1 [↵]	映像入力として選択されている入力チャンネルの取り込み開始位置設定を自動計測する。 正常終了。
	送 @AIS, 1 [↵] 受 @ERR, 7 [↵]	自動計測に失敗すると、エラーが返されます。
関連項目	7.6.6 自動計測	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。	

@AIT	アスペクト比を考慮した自動計測		
コマンド書式	@AIT, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@AIT, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください		
実行例	送	@AIT, 1 <input type="checkbox"/>	映像入力として選択されている入力チャンネルの、入力タイミング設定を自動計測する。 正常終了。
	受	@AIT, 1 <input type="checkbox"/>	
	送	@AIT, 1 <input type="checkbox"/>	自動計測に失敗すると、エラーが返されます。
	受	@ERR, 7 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7. 6. 6 自動計測		
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。		

@SIS	取り込み開始位置の自動計測設定		
コマンド書式	@SIS, <i>ch</i> , <i>mode</i> <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SIS, <i>ch</i> , <i>mode</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 4 = IN4 ~ 6 = IN6		
	<i>mode</i> : 自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力は全て自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値		
実行例	送	@SIS, 5, 1 <input type="checkbox"/>	IN5 から現在入力されている信号は自動計測しない。 正常終了。
	受	@SIS, 5, 1 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7. 6. 7 取り込み開始位置の自動計測		

@GIS	取り込み開始位置の自動計測取得	
コマンド書式	@GIS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIS, <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_4-6</i> : 各入力チャンネルの自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力は全て自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値	
	送	@GIS <input type="checkbox"/>
受	@GIS, 0, 1, 1 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7. 6. 7 取り込み開始位置の自動計測	

@SSM	未登録信号入力時の自動計測設定		
コマンド書式	@SSM, <i>mode</i> <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SSM, <i>mode</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>mode</i> : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値		
実行例	送	@SSM, 1 <input type="checkbox"/>	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。 正常終了。
	受	@SSM, 1 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7. 6. 8 未登録信号入力時の自動計測		

<b>@GSM</b>	<b>未登録信号入力時の自動計測取得</b>	
コマンド書式	@GSM [ ]	
返り値書式	@GSM, mode [ ]	
パラメータ	mode : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値	
実行例	送 @GSM [ ] 受 @GSM, 1 [ ]	未登録信号が入力された場合の自動計測の実行を取得。 未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
関連項目	7.6.8 未登録信号入力時の自動計測	

<b>@RTT</b>	<b>機種データの読み出し</b>	
コマンド書式	@RTT, ch, table [ ]	
返り値書式	@RTT, ch, table [ ]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 4 = IN4 ~ 6 = IN6 ----- table : 機種テーブル 1 ~ 99(登録した機種データ), 100 ~ 100+n(本機にあらかじめ登録されている機種データで、n は入力されている信号により異なりますが大半は 0 です)	
実行例	送 @RTT, 5, 2 [ ] 受 @RTT, 5, 2 [ ]	IN5の入カタイミング設定を機種テーブル2に保存された内容にする。 正常終了。
関連項目	7.6.9 機種データの読み出し	
注意事項	入力された信号に対する機種データが登録されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@STT</b>	<b>機種データの登録</b>	
コマンド書式	@STT, ch, table (, name) [ ]	
返り値書式	@STT, ch, table (, name) [ ]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 4 = IN4 ~ 6 = IN6 ----- table : 機種テーブル 1 ~ 99 ----- name : 機種テーブル名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 14 文字まで 機種テーブル名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入カタイミング設定のみ保存します。ただし現在保存されている名前がなかった場合は、自動的に解像度を機種テーブル名として保存します。	
実行例	現在の IN5 の入カタイミング設定を、機種テーブル 2 に保存する。	
	送 @STT, 5, 2 [ ] 受 @STT, 5, 2 [ ]	[機種テーブル名を省略した場合]
	送 @STT, 5, 2, XGA 60Hz [ ] 受 @STT, 5, 2, XGA 60Hz [ ]	[機種テーブル名を指定した場合]
関連項目	7.6.10 機種データの登録	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号(テレビ信号は除く)が入力されている場合のみ、有効なコマンドです。	

@STK	トラッキング設定	
コマンド書式	@STK, <i>ch</i> , <i>tracking</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@STK, <i>ch</i> , <i>tracking</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 4 = IN4 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>out</i> : トラッキング 0 ~ 31 ※初期値 0	
実行例	送 @STK, 5, 4 <input type="checkbox"/> 受 @STK, 5, 4 <input type="checkbox"/>	IN5 のトラッキングを出力を 4 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.6.11 トラッキング	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GTK	トラッキング取得	
コマンド書式	@GTK <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GTK, <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_4-6</i> : 各入力チャンネルのトラッキング 0 ~ 31 ※初期値 0	
実行例	送 @GTK <input type="checkbox"/> 受 @GTK, 5, 4, 4 <input type="checkbox"/>	トラッキングを取得。 IN4 のトラッキングは 5、それ以外は 4。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は 0 が返されます。
関連項目	7.6.11 トラッキング	

@SEQ	出カイクライザ設定	
コマンド書式	@SEQ, <i>ch</i> , <i>level_A</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SEQ, <i>ch</i> , <i>level_A</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>level_A</i> : OUT A 端子の出カイクライザー 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @SEQ, 1, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SEQ, 1, 0 <input type="checkbox"/>	OUT A 端子の出カイクライザーを OFF 設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.1 出カイクライザ	

@GEQ	出カイクライザ取得	
コマンド書式	@GEQ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GEQ, <i>out_A</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子の出カイクライザー 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @GEQ <input type="checkbox"/> 受 @GEQ, 0 <input type="checkbox"/>	出カイクライザーを取得。 OUT A 端子の出カイクライザーは OFF。
関連項目	7.7.1 出カイクライザ	

@SDM	出力モード設定	
コマンド書式	@SDM, <i>ch</i> , <i>mode_A</i> , <i>mode_B</i> [↵]	
返り値書式	@SDM, <i>ch</i> , <i>mode_A</i> , <i>mode_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>mode_A</i> : OUT A 端子の出力モード <i>mode_B</i> : OUT B 端子の出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
実行例	送 @SDM, 1, 3, 3[↵] 受 @SDM, 1, 3, 3[↵]	出力モードを HDMI YCbCr4:4:4 MODE に設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.2 出力モード	

@GDM	出力モード取得	
コマンド書式	@GDM [↵]	
返り値書式	@GDM, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子の出力モード <i>out_B</i> : OUT B 端子の出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
実行例	送 @GDM[↵] 受 @GDM, 3, 3[↵]	出力モードを取得。 出力モードは HDMI YCbCr4:4:4 MODE。
関連項目	7.7.2 出力モード	

@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力設定	
コマンド書式	@SUY, <i>ch</i> , <i>sync</i> [↵]	
返り値書式	@SUY, <i>ch</i> , <i>sync</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>sync</i> : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SUY, 1, 1[↵] 受 @SUY, 1, 1[↵]	映像信号が入力されていない場合でも同期信号を出力する。 正常終了。
関連項目	7.7.3 映像信号無入力時の同期信号出力	

@GUY	映像信号無入力時の同期信号出力取得	
コマンド書式	@GUY [↵]	
返り値書式	@GUY, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @GUY[↵] 受 @GUY, 1[↵]	映像信号無入力時の同期信号出力を取得。 同期信号を出力する。
関連項目	7.7.3 映像信号無入力時の同期信号出力	

<b>@SBO</b>	<b>映像信号無入力時の出力映像設定</b>	
コマンド書式	@SBO, <i>ch</i> , <i>video</i>	
返り値書式	@SBO, <i>ch</i> , <i>video</i>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>video</i> : 出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送 @SBO, 1, 1	映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。
	受 @SBO, 1, 1	正常終了。
関連項目	7.7.4 映像信号無入力時の出力映像	

<b>@GBO</b>	<b>映像信号無入力時の出力映像取得</b>	
コマンド書式	@GBO	
返り値書式	@GBO, <i>out</i>	
パラメータ	<i>out</i> : 出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送 @GBO	映像信号無入力時の出力映像を取得。
	受 @GBO, 1	ブルー画面を出力する。
関連項目	7.7.4 映像信号無入力時の出力映像	

<b>@SFF</b>	<b>フェードアウト/フェードイン設定</b>	
コマンド書式	@SFF, <i>ch</i> , <i>fade-out/in</i>	
返り値書式	@SFF, <i>ch</i> , <i>fade-out/in</i>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>fade-out/in</i> : フェードアウト/フェードイン 0 = フェードアウト/フェードインしない, 1 = フェードアウト/フェードインする, 2 = フリーズ後、フェードアウト/フェードインする ※初期値	
実行例	送 @SFF, 1, 1	入力チャンネル切り換え時にフェードアウト/フェードインする。
	受 @SFF, 1, 1	正常終了。
関連項目	7.7.5 フェードアウト/フェードイン	

<b>@GFF</b>	<b>フェードアウト/フェードイン取得</b>	
コマンド書式	@GFF	
返り値書式	@GFF, <i>out</i>	
パラメータ	<i>out</i> : フェードアウト/フェードイン 0 = フェードアウト/フェードインしない, 1 = フェードアウト/フェードインする, 2 = フリーズ後、フェードアウト/フェードインする ※初期値	
実行例	送 @GFF	入力チャンネル切り換え時のフェードアウト/フェードインを取得。
	受 @GFF, 1	フェードアウト/フェードインする
関連項目	7.7.5 フェードアウト/フェードイン	

@SFT	フェードアウト/フェードイン時間設定	
コマンド書式	@SFT, <i>ch</i> , <i>time</i> [↵]	
返り値書式	@SFT, <i>ch</i> , <i>time</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>time</i> : フェードアウト/フェードイン時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒 10ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。(例えば 395 と指定すると、390ms に設定されます)	
実行例	送 @SFT, 1, 400 [↵] 受 @SFT, 1, 400 [↵]	フェードアウト/フェードイン時間は 400ms。 正常終了。
関連項目	7.7.6 フェードアウト/フェードイン時間	

@GFT	フェードアウト/フェードイン時間取得	
コマンド書式	@GFT [↵]	
返り値書式	@GFT, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : フェードアウト/フェードイン時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒	
実行例	送 @GFT [↵] 受 @GFT, 400 [↵]	入力チャンネル切り換え時のフェードアウト/フェードイン時間を取得。 フェードアウト/フェードイン時間は 400ms。
関連項目	7.7.6 フェードアウト/フェードイン時間	

@SVO	映像出力端子設定	
コマンド書式	@SVO, <i>ch</i> , <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
返り値書式	@SVO, <i>ch</i> , <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>out_A</i> : OUT A 端子の映像出力 <i>out_B</i> : OUT B 端子の映像出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SVO, 1, 1, 1 [↵] 受 @SVO, 1, 1, 1 [↵]	OUT A 端子および OUT B 端子の両方に映像を出力する。 正常終了。
関連項目	7.7.7 映像出力端子	

@GVO	映像出力端子取得	
コマンド書式	@GVO [↵]	
返り値書式	@GVO, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子の映像出力 <i>out_B</i> : OUT B 端子の映像出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @GVO [↵] 受 @GVO, 1, 1 [↵]	映像を出力する端子を取得。 OUT A 端子および OUT B 端子の両方に映像を出力。
関連項目	7.7.7 映像出力端子	

@SEN	HDCP 出力設定	
コマンド書式	@SEN, <i>ch</i> , <i>hdcp_A</i> , <i>hdcp_B</i> [↵]	
返り値書式	@SEN, <i>ch</i> , <i>hdcp_A</i> , <i>hdcp_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>hdcp_A</i> : OUT A 端子の HDCP 出力 <i>hdcp_B</i> : OUT B 端子の HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力, 1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値	
実行例	送 @SEN, 1, 1, 1 [↵] 受 @SEN, 1, 1, 1 [↵]	OUT A 端子および OUT B 端子の両方に常時 HDCP を出力する。 正常終了。
関連項目	7.7.8 HDCP出力	

@GEN	HDCP 出力取得	
コマンド書式	@GEN [↵]	
返り値書式	@GEN, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子の HDCP 出力 <i>out_B</i> : OUT B 端子の HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力, 1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値	
実行例	送 @GEN [↵] 受 @GEN, 1, 1 [↵]	HDCP 出力を取得。 OUT A 端子および OUT B 端子の両方に常時 HDCP を出力する。
関連項目	7.7.8 HDCP出力	

@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	
コマンド書式	@SHR, <i>ch_1</i> , <i>retry_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>retry_2</i> ) [↵]	
返り値書式	@SHR, <i>ch_1</i> , <i>retry_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>retry_2</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-2</i> : 出力端子 0 = 全出力端子, 1 = OUT A, 2 = OUT B <hr/> <i>retry_1-2</i> : リトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う	
実行例	送 @SHR, 1, 10 [↵] 受 @SHR, 1, 10 [↵]	OUT A 端子は 10 回までリトライする。 正常終了。
関連項目	7.7.9 HDCP認証エラー時のリトライ回数	

@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	
コマンド書式	@GHR [↵]	
返り値書式	@GHR, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子のリトライ回数 <i>out_B</i> : OUT B 端子のリトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う	
実行例	送 @GHR [↵] 受 @GHR, 0, -1 [↵]	HDCP 認証エラー時のリトライ回数を取得。 OUT A 端子はリトライしない。OUT B 端子は成功するまでリトライする。
関連項目	7.7.9 HDCP認証エラー時のリトライ回数	

@SDC	Deep Color 出力設定	
コマンド書式	@SDC, <i>ch</i> , <i>color_A</i> , <i>color_B</i> [↵]	
返り値書式	@SDC, <i>ch</i> , <i>color_A</i> , <i>color_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>color_A</i> : OUT A 端子の色深度 <i>color_B</i> : OUT B 端子の色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDC, 1, 0, 1 [↵] 受 @SDC, 1, 0, 1 [↵]	OUT A 端子は 24-BIT COLOR、OUT B 端子は 30-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.10 Deep Color出力	

@GDC	Deep Color 出力取得	
コマンド書式	@GDC [↵]	
返り値書式	@GDC, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子の色深度 <i>out_B</i> : OUT B 端子の色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDC [↵] 受 @GDC, 1, 1 [↵]	出力されている色深度を取得。 OUT A 端子および OUT B 端子の両方が 30-BIT COLOR で出力されている。
関連項目	7.7.10 Deep Color出力	

@SCE	CEC 接続設定	
コマンド書式	@SCE, <i>ch</i> , <i>connect_A</i> , <i>connect_B</i> [↵]	
返り値書式	@SCE, <i>ch</i> , <i>connect_A</i> , <i>connect_B</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>connect_A</i> : OUT A 端子の CEC 接続 <i>connect_B</i> : OUT B 端子の CEC 接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2	
実行例	送 @SCE, 2, 3 [↵] 受 @SCE, 2, 3 [↵]	OUT A 端子は CEC は入力チャンネル 1 と接続、OUT B 端子は CEC は入力チャンネル 2 と接続する。 正常終了。
関連項目	7.7.11 CEC接続	

@GCE	CEC 接続取得	
コマンド書式	@GCE [ ]	
返り値書式	@GCE, out_A, out_B [ ]	
パラメータ	out_A : OUT A 端子の CEC 接続 out_B : OUT B 端子の CEC 接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2	
実行例	送 @GCE [ ] 受 @GCE, 2, 3 [ ]	CEC の接続を取得。 OUT A 端子は入力チャンネル 1 と接続、OUT B 端子は入力チャンネル 2 と接続する。
関連項目	7.7.11 CEC接続	

@SML	音声ミキシングレベル設定	
コマンド書式	@SML, in_1, level_1 (, in_2, level_2) [ ]	
返り値書式	@SML, in_1, level_1 (, in_2, level_2) [ ]	
パラメータ	in_1-2 : 入力ソース 0 = 全入力ソース, 1 = LINE, 2 = SELECT level_1-2 : ミキシングレベル -40 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SML, 1, 4 [ ] 受 @SML, 1, 4 [ ]	LINE 入力のミキシングレベルを+4dB に設定する。 正常終了。
関連項目	6.4 音声ボリュームの調整	

@GML	音声ミキシングレベル取得	
コマンド書式	@GML [ ]	
返り値書式	@GML, line, select [ ]	
パラメータ	line : ライン入力のミキシングレベル select : 入力ソースから選択した音声のミキシングレベル -40 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GML [ ] 受 @GML, 4, 0 [ ]	ミキシングレベルを取得。 LINE 入力は+4dB、SELECT 入力は±0dB。
関連項目	6.4 音声ボリュームの調整	

@SSL	音声出力レベル設定	
コマンド書式	@SSL, <i>ch</i> , <i>level</i> 	
返り値書式	@SSL, <i>ch</i> , <i>level</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>level</i> : 音声出力レベル -40 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SSL, 1, -4  受 @SSL, 1, -4 	音声出力レベルを-4dB に設定する。 正常終了。
関連項目	6.4 音声ボリュームの調整	
注意事項	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GSL	音声出力レベル取得	
コマンド書式	@GSL 	
返り値書式	@GSL, <i>out</i> 	
パラメータ	<i>out</i> : 音声出力レベル -40 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GSL  受 @GSL, -4 	音声出力レベルを取得。 音声出力レベルは-4dB。
関連項目	6.4 音声ボリュームの調整	

@SAM	音声出力ミュート設定	
コマンド書式	@SAM, <i>ch</i> , <i>mute</i> 	
返り値書式	@SAM, <i>ch</i> , <i>mute</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>mute</i> : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送 @SAM, 1, 1  受 @SAM, 1, 1 	音声出力をミュートする。 正常終了。
関連項目	7.8.1 音声出力ミュート	

@GAM	音声出力ミュート取得	
コマンド書式	@GAM 	
返り値書式	@GAM, <i>out</i> 	
パラメータ	<i>out</i> : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送 @GAM  受 @GAM, 1 	音声出力ミュートを取得。 音声出力はミュート状態。
関連項目	7.8.1 音声出力ミュート	

@SAS	音声入力選択設定	
コマンド書式	@SAS, <i>ch</i> , <i>select</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAS, <i>ch</i> , <i>select</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 3 = IN3 <hr/> <i>select</i> : 音声入力選択 0 = アナログ音声, 1 = デジタル音声 ※初期値	
実行例	送 @SAS, 3, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SAS, 3, 0 <input type="checkbox"/>	IN3 の音声入力をアナログ音声に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.2 音声入力選択	

@GAS	音声入力選択取得	
コマンド書式	@GAS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAS, <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_3</i> : 入力チャンネル 3 の音声入力選択 0 = アナログ音声, 1 = デジタル音声 ※初期値	
実行例	送 @GAS <input type="checkbox"/> 受 @GAS, 0 <input type="checkbox"/>	音声入力選択を取得。 IN3 の音声入力はアナログ音声を使用。
関連項目	7.8.2 音声入力選択	

@SSO	音声入力レベル設定	
コマンド書式	@SSO, <i>ch_1</i> , <i>level_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSO, <i>ch_1</i> , <i>level_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-6</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6 <hr/> <i>level_1-6</i> : 音声入力レベル -28 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SSO, 5, -8 <input type="checkbox"/> 受 @SSO, 5, -8 <input type="checkbox"/>	IN5 の音声入力レベルを-8dB に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.3 音声入力レベル	

@GSO	音声入力レベル取得	
コマンド書式	@GSO <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSO, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-6</i> : 各入力チャンネルの音声入力レベル -28 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GSO <input type="checkbox"/> 受 @GSO, 0, 0, 0, 0, -4, 0 <input type="checkbox"/>	音声入力レベルを取得。 IN5 は-4dB、その他の入力は±0dB。
関連項目	7.8.3 音声入力レベル	

@SAC	デジタル音声出力のクロック設定	
コマンド書式	@SAC, <i>ch</i> , <i>clock</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAC, <i>ch</i> , <i>clock</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>clock</i> : クロック 0 = アナログ音声入力のサンプリングクロック ※初期値, 1 = デジタル音声入力信号のクロックでミキシング有効, 2 = デジタル音声入力信号のクロックでミキシング無効	
実行例	送 @SAC, 1, 0 <input type="checkbox"/>	デジタル音声出力はアナログ音声入力のサンプリングクロックを使用する。
	受 @SAC, 1, 0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.8.4 デジタル音声出力のクロック	

@GAC	デジタル音声出力のクロック取得	
コマンド書式	@GAC <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAC, <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : クロック 0 = アナログ音声入力のサンプリングクロック ※初期値, 1 = デジタル音声入力信号のクロックでミキシング有効, 2 = デジタル音声入力信号のクロックでミキシング無効	
実行例	送 @GAC <input type="checkbox"/>	デジタル音声出力のクロックを取得。
	受 @GAC, 0 <input type="checkbox"/>	アナログ音声入力のサンプリングクロックを使用する。
関連項目	7.8.4 デジタル音声出力のクロック	

@SSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数設定	
コマンド書式	@SSF, <i>ch</i> , <i>frequency</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSF, <i>ch</i> , <i>frequency</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>frequency</i> : サンプリング周波数 0 = 32kHz, 1 = 44.1kHz, 2 = 48kHz ※初期値, 3 = 88.2kHz, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @SSF, 1, 2 <input type="checkbox"/>	サンプリング周波数を 48kHz に設定する。
	受 @SSF, 1, 2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.8.5 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

@GSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数取得	
コマンド書式	@GSF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSF, <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : サンプリング周波数 0 = 32kHz, 1 = 44.1kHz, 2 = 48kHz ※初期値, 3 = 88.2kHz, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @GSF <input type="checkbox"/>	サンプリング周波数を取得。
	受 @GSF, 2 <input type="checkbox"/>	サンプリング周波数は 48kHz。
関連項目	7.8.5 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

@SMX	音声ミキシング設定	
コマンド書式	@SMX, <i>ch</i> , <i>line</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SMX, <i>ch</i> , <i>line</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>line</i> : LINE 入力ミキシング 0 = ミキシング OFF, 1 = ミキシング ON ※初期値	
実行例	送 @SMX, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SMX, 1, 1 <input type="checkbox"/>	LINE 入力の音声ミキシング ON に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.6 音声ミキシング	

@GMX	音声ミキシング取得	
コマンド書式	@GMX, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GMX, <i>ch</i> , <i>line</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>line</i> : LINE 入力ミキシング 0 = ミキシング OFF, 1 = ミキシング ON ※初期値	
実行例	送 @GMX, 1 <input type="checkbox"/> 受 @GMX, 1, 0 <input type="checkbox"/>	音声ミキシングを取得。 LINE 入力の音声ミキシング OFF。
関連項目	7.8.6 音声ミキシング	

@SDO	デジタル音声出力端子設定	
コマンド書式	@SDO, <i>ch</i> , <i>out_A</i> , <i>out_B</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SDO, <i>ch</i> , <i>out_A</i> , <i>out_B</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>out_A</i> : OUT A 端子のデジタル音声出力 <i>out_B</i> : OUT B 端子のデジタル音声出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SDO, 1, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SDO, 1, 1, 1 <input type="checkbox"/>	OUT A 端子および OUT B 端子の両方にデジタル音声を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.9 デジタル音声出力端子	

@GDO	デジタル音声出力端子取得	
コマンド書式	@GDO <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDO, <i>out_A</i> , <i>out_B</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out_A</i> : OUT A 端子のデジタル音声出力 <i>out_B</i> : OUT B 端子のデジタル音声出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @GDO <input type="checkbox"/> 受 @GDO, 1, 1 <input type="checkbox"/>	デジタル音声を出力する端子を取得。 OUT A 端子および OUT B 端子の両方にデジタル音声を出力。
関連項目	7.8.9 デジタル音声出力端子	

@SOA	各チャンネル毎の音声出力設定	
コマンド書式	@SOA, <i>ch_1</i> , <i>out_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>out_2</i> ····) 	
返り値書式	@SOA, <i>ch_1</i> , <i>out_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>out_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>ch_1-7</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 6 = IN6, 7 = OFF <hr/> <i>out_1-7</i> : 音声出力チャンネル 1 = IN1 ~ 6 = IN6, 7 = OFF ※初期値 入力チャンネル 1 ~ 6, OFF : 音声出力チャンネル 1 ~ 6, OFF	
実行例	送 @SOA, 1, 2  受 @SOA, 1, 2 	入力 IN1 の音声出力チャンネルを IN2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.10 各チャンネル毎の音声出力設定	

@GOA	各チャンネル毎の音声出力取得	
コマンド書式	@GOA 	
返り値書式	@GOA, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> 	
パラメータ	<i>in_1-7</i> : 各入力チャンネルの音声出力チャンネル 1 = IN1 ~ 6 = IN6, 7 = OFF ※初期値 入力チャンネル 1 ~ 6, OFF : 音声出力チャンネル 1 ~ 6, OFF	
実行例	送 @GOA  受 @GOA, 1, 2, 2, 2, 2, 2 	音声出力チャンネルを取得。 入力 IN1 は音声出力チャンネル1、その他のチャンネルは音声出力チャンネル2。
関連項目	7.8.10 各チャンネル毎の音声出力設定	

@SMD	マルチチャンネル音声出力設定	
コマンド書式	@SMD, <i>ch</i> , <i>out</i> 	
返り値書式	@SMD, <i>ch</i> , <i>out</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力チャンネル 出力には必ず、1を指定してください <hr/> <i>out</i> : マルチチャンネル音声出力 0 = CH1/CH2 STEREO, 1 = CH3/CH4 STEREO, 2 = CH5/CH6 STEREO, 3 = CH7/CH8 STEREO, 4 = CH3/CH4 MONO, 5 = CH5/CH6 MONO, 6 = CH7/CH8 MONO, 7 = DOWN MIX ※初期値	
実行例	送 @SMD, 1, 7  受 @SMD, 1, 7 	DOWN MIXした音声を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.11 マルチチャンネル音声出力	

@GMD	マルチチャンネル音声出力取得	
コマンド書式	@GMD 	
返り値書式	@GMD, <i>out</i> 	
パラメータ	<i>out</i> : マルチチャンネル音声出力 0 = CH1/CH2 STEREO, 1 = CH3/CH4 STEREO, 2 = CH5/CH6 STEREO, 3 = CH7/CH8 STEREO, 4 = CH3/CH4 MONO, 5 = CH5/CH6 MONO, 6 = CH7/CH8 MONO, 7 = DOWN MIX ※初期値	
実行例	送 @GMD  受 @GMD, 7 	マルチチャンネル音声出力を取得。 DOWN MIXした音声を出力する。
関連項目	7.8.11 マルチチャンネル音声出力	

@SED	EDID データ設定	
コマンド書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...) 	
返り値書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...) 	
パラメータ	<p><i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3</p> <hr/> <p><i>edid_1-3</i> : EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = OUT A 端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 2 = OUT B 端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8 ※ ※ @RME EDID データのコピー(P. 63)であらかじめ表示機器から EDID データを読み取っておく必要があります</p>	
実行例	送 @SED, 3, 1  受 @SED, 3, 1 	IN3 を OUT A 端子に接続された表示機器から読み取った EDID に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.1 EDIDデータ	

@GED	EDID データ取得	
コマンド書式	@GED 	
返り値書式	@GED, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> 	
パラメータ	<p><i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = OUT A 端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 2 = OUT B 端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8</p>	
実行例	送 @GED  受 @GED, 0, 0, 1 	EDID データを取得。 IN3 は OUT A 端子に接続された表示機器から読み取った EDID、その他の入力チャンネルは内蔵 EDID。
関連項目	7.9.1 EDIDデータ	

@SVF	EDID パソコン用解像度設定	
コマンド書式	@SVF, <i>ch_1</i> , <i>resolution_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>resolution_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SVF, <i>ch_1</i> , <i>resolution_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>resolution_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p><i>ch_1-5</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5</p> <hr/> <p><i>resolution_1-5</i> : 解像度 0 = SVGA (800x600), 1 = XGA (1024x768), 2 = 720p (1280x720), 3 = WXGA (1280x768), 4 = WXGA (1280x800), 5 = Quad-VGA (1280x960), 6 = SXGA (1280x1024), 7 = WXGA (1360x768), 8 = WXGA (1366x768), 9 = SXGA+ (1400x1050), 10 = WXGA+ (1440x900), 11 = WXGA++ (1600x900), 12 = UXGA (1600x1200), 13 = WSXGA+ (1680x1050), 14 = 1080i (1920x1080), ※1 15 = 1080p (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200)</p> <p>※1 <i>ch_1-5</i> に 0、4、5 を指定した場合は設定することができません ※初期値 <i>ch_1-5</i> が 1 (IN1) ~ 3 (IN3) の場合 1080p (1920x1080), <i>ch_1-5</i> が 4 (IN4) ~ 5 (IN5) の場合 UXGA (1600x1200)</p>	
実行例	送 @SVF, 0, 12 <input type="checkbox"/> 受 @SVF, 0, 12 <input type="checkbox"/>	全入力チャンネルの EDID を 1600x1200 (UXGA) に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.2 パソコン用入力解像度	

@GVF	EDID パソコン用解像度取得	
コマンド書式	@GVF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GVF, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p><i>in_1-5</i> : 各入力チャンネルの解像度 0 = SVGA (800x600), 1 = XGA (1024x768), 2 = 720p (1280x720), 3 = WXGA (1280x768), 4 = WXGA (1280x800), 5 = Quad-VGA (1280x960), 6 = SXGA (1280x1024), 7 = WXGA (1360x768), 8 = WXGA (1366x768), 9 = SXGA+ (1400x1050), 10 = WXGA+ (1440x900), 11 = WXGA++ (1600x900), 12 = UXGA (1600x1200), 13 = WSXGA+ (1680x1050), 14 = 1080i (1920x1080), 15 = 1080p (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200)</p> <p>※初期値 <i>in_1</i> (IN1) ~ <i>in_3</i> (IN3) は 1080p (1920x1080), <i>in_4</i> (IN4) ~ <i>in_5</i> (IN5) は UXGA (1600x1200)</p>	
実行例	送 @GVF <input type="checkbox"/> 受 @GVF, 6, 6, 6, 9, 6 <input type="checkbox"/>	EDID データを取得。 IN4 は 1400x1050、その他の入力チャンネルは 1280x1024。
関連項目	7.9.2 パソコン用入力解像度	

@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	
コマンド書式	@SHF, <i>ch_1</i> , <i>resolution_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>resolution_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SHF, <i>ch_1</i> , <i>resolution_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>resolution_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 <hr/> <i>resolution_1-3</i> : 解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @SHF, 0, 4 <input type="checkbox"/> 受 @SHF, 0, 4 <input type="checkbox"/>	全入力チャンネルの EDID を 1080p に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.3 AV機器用入力解像度	

@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	
コマンド書式	@GHF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GHF, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @GHF <input type="checkbox"/> 受 @GHF, 5, 4, 5 <input type="checkbox"/>	EDID データを取得。 IN2 は 1080p、その他の入力チャンネルは AUTO。
関連項目	7.9.3 AV機器用入力解像度	

@SDI	Deep Color 入力設定	
コマンド書式	@SDI, <i>ch_1</i> , <i>color_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>color_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SDI, <i>ch_1</i> , <i>color_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>color_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-3</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 <hr/> <i>color_1-3</i> : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDI, 3, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SDI, 3, 0 <input type="checkbox"/>	IN3 の色深度を 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.4 Deep Color入力	

@GDI	Deep Color 入力取得	
コマンド書式	@GDI <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDI, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-3</i> : 各入力チャンネルの色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDI <input type="checkbox"/> 受 @GDI, 1, 1, 0 <input type="checkbox"/>	色深度を取得。 IN3 は 24-BIT COLOR、その他の入力チャンネルは 30-BIT COLOR。
関連項目	7.9.4 Deep Color入力	

@SAF	音声フォーマット設定																	
コマンド書式	@SAF, <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ...) <input type="checkbox"/>																	
返り値書式	@SAF, <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ...) <input type="checkbox"/>																	
パラメータ	<p><i>format_1-7</i> : 音声フォーマット ※初期値 リニア PCM のみ、出力許可  0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC,  3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD</p> <p><i>frequency_1-7</i> : サンプリング周波数  0 = 出力を許可しない, 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 88.2kHz,  5 = 96kHz, 6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz ※初期値 下表 ( ) 内の数値  指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニア PCM</td> <td>32/44.1/48/88.2/96/192 (48)</td> </tr> <tr> <td>AC-3/Dolby Digital</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48 (48)</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96 (48)</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48 (48)</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48/96 (48)</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (192)</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (96)</td> </tr> </tbody> </table> <p>出力を許可する音声フォーマットと、最大サンプリング周波数を指定します。  出力を許可する音声フォーマットのみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった音声フォーマットについては自動的に全て「出力を許可しない」に設定されるため、通常は「0=出力を許可しない」のパラメータを送信する必要はありません。またリニア PCM は必ず許可されるので、サンプリング周波数を変更する必要がなければ省略可能です。</p>		音声フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)	AC-3/Dolby Digital	出力を許可しない/32/44.1/48 (48)	AAC	出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96 (48)	Dolby Digital+	出力を許可しない/32/44.1/48 (48)	DTS	出力を許可しない/32/44.1/48/96 (48)	DTS-HD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (192)	Dolby TrueHD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (96)
音声フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)																	
リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)																	
AC-3/Dolby Digital	出力を許可しない/32/44.1/48 (48)																	
AAC	出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96 (48)																	
Dolby Digital+	出力を許可しない/32/44.1/48 (48)																	
DTS	出力を許可しない/32/44.1/48/96 (48)																	
DTS-HD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (192)																	
Dolby TrueHD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (96)																	
実行例	送 @SAF, 0, 7, 2, 3 <input type="checkbox"/> 受 @SAF, 0, 7, 2, 3 <input type="checkbox"/> 送 @SAF, 4, 3 <input type="checkbox"/> 受 @SAF, 4, 3 <input type="checkbox"/>	リニア PCM の 192kHz および AAC の 48kHz までの音声出力を許可する。 正常終了。 リニア PCM および DTS の 48kHz までの音声出力を許可する。 (リニア PCM のサンプリング周波数は変更されません) 正常終了。																
関連項目	7.9.5 音声フォーマット																	

@GAF	音声フォーマット取得	
コマンド書式	@GAF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAF, <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p><i>format_1-7</i> : 音声フォーマット ※初期値 リニア PCM のみ出力許可  0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC,  3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD</p> <p><i>frequency_1-7</i> : サンプリング周波数  1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 88.2kHz, 5 = 96kHz,  6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz  ※初期値 DTS-HD は 192kHz、Dolby TrueHD は 96kHz、それ以外は 48kHz</p> <p>出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を送信します。</p>	
実行例	送 @GAF <input type="checkbox"/> 受 @GAF, 0, 7 <input type="checkbox"/>	出力許可されている音声フォーマットを取得。 リニア PCM の 192kHz までの音声出力が許可されている。
関連項目	7.9.5 音声フォーマット	

@SSP	スピーカ数設定																																																																																																																								
コマンド書式	@SSP, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																								
返り値書式	@SSP, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																								
パラメータ	<p>number : スピーカ数 1 ~ 8 ※初期値 2</p> <p>speaker_1-8 : 使用するスピーカ 0 = Front Left/Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left/Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left/Right Center, 6 = Rear Left/Right Center, 7 = Front Left/Right Wide, 8 = Front Left/Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High</p> <p>speaker_1-8 を省略すると number の設定に応じて以下のように設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>speaker_1-8 を指定したときに number と speaker_1-8 の合計が一致しない場合は、speaker_1-8 から自動的に number を設定し、万が一 number が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。</p>		number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																											
number	speaker																																																																																																																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																														
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																				
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																				
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
実行例	送 @SSP, 8 <input type="checkbox"/> 受 @SSP, 8 <input type="checkbox"/>	スピーカ数を 8 に設定する。(スピーカ構成は上の表の number=8 のようになります) 正常終了。																																																																																																																							
	送 @SSP, 6, 0, 1, 2, 3 <input type="checkbox"/> 受 @SSP, 6, 0, 1, 2, 3 <input type="checkbox"/>	Front Left/Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left/Right の 6 個のスピーカを使用する。 正常終了。																																																																																																																							
	送 @SSP, 8, 0, 3, 5, 6, 7 <input type="checkbox"/> 受 @ERR, 1 <input type="checkbox"/>	Front Left/Right, Rear Left/Right, Front Left/Right Center, Rear Left/Right Center, Front Left/Right Wide のスピーカを使用する。 スピーカ数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超えている。																																																																																																																							
関連項目	7.9.6 スピーカ構成																																																																																																																								

@GSP	スピーカ数取得	
コマンド書式	@GSP [↵]	
返り値書式	@GSP, number, speaker_1 (, speaker_2...) [↵]	
パラメータ	<p>number : スピーカ数 1 ~ 8 ※初期値 2</p> <hr/> <p>speaker_1-8 : 使用するスピーカ 0 = Front Left/Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left/Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left/Right Center, 6 = Rear Left/Right Center, 7 = Front Left/Right Wide, 8 = Front Left/Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High</p>	
実行例	送 @GSP [↵] 受 @GSP, 6, 0, 1, 2, 3 [↵]	スピーカ構成を取得。 Front Left/Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left/Right の 6 個のスピーカを使用している。
関連項目	7.9.6 スピーカ構成	

@RME	EDID データのコピー	
コマンド書式	@RME, out, number (, name) [↵]	
返り値書式	@RME, out, number (, name) [↵]	
パラメータ	<p>out : 読み取り端子 1 = OUT A, 2 = OUT B</p> <hr/> <p>number : 保存先の COPY DATA 番号 1 ~ 8</p> <hr/> <p>name : COPY DATA 名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで COPY DATA 名は省略可能で、省略した場合は現在保存されている名前を変更せずに EDID の設定のみ保存します。</p>	
実行例	送 @RME, 1, 1 [↵] 受 @RME, 1, 1 [↵]	OUT A に接続されている標示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。 正常終了。
	送 @RME, 1, 4, 800x600 [↵] 受 @RME, 1, 4, 800x600 [↵]	OUT A に接続されている表示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 4 に「800x600」という名前を付けて保存する。 正常終了。
	送 @RME, 1, 1 [↵] 受 @ERR, 7 [↵]	OUT A に接続されている表示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。 EDID データの読み取りに失敗しました。
関連項目	7.9.7 EDID データのコピー	

@SCT	シリアル通信端子 通信設定	
コマンド書式	@SCT, port, setting <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCT, port, setting <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>port : シリアル通信端子 0 = 全端子, 1 = RS-232C CH1 端子, 2 = RS-232C CH2 端子</p> <hr/> <p>setting : 通信設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 ( 4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 )</li> <li>・データ長 ( 8, 7[bit] ※初期値 : 8 )</li> <li>・パリティ ( なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし )</li> <li>・ストップビット ( 1, 2[bit] ※初期値 : 1 )</li> </ul> <p>設定値は表 3. 3a をご覧ください。</p>	
実行例	送 @SCT, 1, 24 <input type="checkbox"/> 受 @SCT, 1, 24 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 端子を、通信速度=19200[bps]、データ長=8[bit]、パリティ=なし、ストップビット=1[bit]に設定する。 正常終了。
関連項目	7. 10. 1 シリアル通信端子 通信設定	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GCT	シリアル通信端子 通信設定取得	
コマンド書式	@GCT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCT, rs_232c_1, rs_232c_2 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>rs_232c_1 : RS-232C CH1 端子 通信設定</p> <p>rs_232c_2 : RS-232C CH2 端子 通信設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 ( 4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 )</li> <li>・データ長 ( 8, 7[bit] ※初期値 : 8 )</li> <li>・パリティ ( なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし )</li> <li>・ストップビット ( 1, 2[bit] ※初期値 : 1 )</li> </ul> <p>設定値は表 3. 3a をご覧ください。</p>	
実行例	送 @GCT <input type="checkbox"/> 受 @GCT, 24, 24 <input type="checkbox"/>	シリアル端子の通信設定を取得する。 RS-232C CH1 端子、CH2 端子ともに通信速度:19200[bps]、データ長:8[bit]、パリティ:なし、ストップビット:1[bit]。
関連項目	7. 10. 1 シリアル通信端子 通信設定	

値	通信設定			
0	4800	8	なし	1
1	4800	8	なし	2
2	4800	8	奇数	1
3	4800	8	奇数	2
4	4800	8	偶数	1
5	4800	8	偶数	2
6	4800	7	なし	1
7	4800	7	なし	2
8	4800	7	奇数	1
9	4800	7	奇数	2
10	4800	7	偶数	1
11	4800	7	偶数	2
12	9600	8	なし	1
13	9600	8	なし	2
14	9600	8	奇数	1
15	9600	8	奇数	2
16	9600	8	偶数	1
17	9600	8	偶数	2
18	9600	7	なし	1
19	9600	7	なし	2
20	9600	7	奇数	1
21	9600	7	奇数	2
22	9600	7	偶数	1
23	9600	7	偶数	2
24	19200	8	なし	1
25	19200	8	なし	2
26	19200	8	奇数	1
27	19200	8	奇数	2
28	19200	8	偶数	1
29	19200	8	偶数	2
30	19200	7	なし	1
31	19200	7	なし	2
32	19200	7	奇数	1
33	19200	7	奇数	2
34	19200	7	偶数	1
35	19200	7	偶数	2
36	38400	8	なし	1
37	38400	8	なし	2
38	38400	8	奇数	1
39	38400	8	奇数	2
40	38400	8	偶数	1
41	38400	8	偶数	2
42	38400	7	なし	1
43	38400	7	なし	2
44	38400	7	奇数	1
45	38400	7	奇数	2
46	38400	7	偶数	1
47	38400	7	偶数	2

[表 3. 3a] シリアル通信設定パラメータ

@SCF	シリアル通信端子 動作モード設定	
コマンド書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	port : シリアル通信端子 0 = 全端子, 1 = RS-232C CH1 端子, 2 = RS-232C CH2 端子 ----- mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
実行例	送 @SCF, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SCF, 1, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 端子を送信モードに設定する。 正常終了。
関連項目	7. 10. 2 シリアル通信端子 動作モード	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。 7. 10. 3 制御機器間 RS-232C 伝送 (参照: ユーザーズガイド) を ON に設定していると、設定した動作モードによる通信が行えなくなりますので、OFF に設定変更を行ってください。	

@GCF	シリアル通信端子 動作モード取得	
コマンド書式	@GCF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCF, rs-232c_1, rs-232c_2 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	rs_232c_1 : RS-232C CH1 端子 動作モード rs_232c_2 : RS-232C CH2 端子 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
実行例	送 @GCF <input type="checkbox"/> 受 @GCF, 1, 0 <input type="checkbox"/>	シリアル通信端子の動作モードを取得する。 RS-232C CH1 は送信モード、RS-232C CH2 は受信モード。
関連項目	7. 10. 2 シリアル通信端子 動作モード	

@SCD	制御機器間 RS-232C 伝送設定	
コマンド書式	@SCD, mode <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCD, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : RS-232C 伝送モード 0 = 伝送しない ※初期値, 1 = 伝送する	
実行例	送 @SCD, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SCD, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C 伝送を行う。 正常終了。
関連項目	7. 10. 3 制御機器間 RS-232C 伝送	
注意事項	RS-232C 伝送を行う際には、パソコン等の制御機器の通信設定は送信側/受信側同じになるように設定してください。	

@GCD	制御機器間 RS-232C 伝送取得	
コマンド書式	@GCD <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCD, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : RS-232C 伝送モード 0 = 伝送しない ※初期値, 1 = 伝送する	
実行例	送 @GCD <input type="checkbox"/> 受 @GCD, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C 伝送を取得する。 RS-232C 伝送を行う。
関連項目	7. 10. 3 制御機器間 RS-232C 伝送	

@SIP	IP アドレス設定	
コマンド書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @SIP, 192, 168, 3, 2 [↵] 受 @SIP, 192, 168, 3, 2 [↵]	本機の IP アドレスを 192.168.3.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GIP	IP アドレス取得	
コマンド書式	@GIP [↵]	
返り値書式	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @GIP [↵] 受 @GIP, 192, 168, 3, 2 [↵]	本機の IP アドレスを取得する。 IP アドレスは 192.168.3.2。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	

@SSB	サブネットマスク設定	
コマンド書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @SSB, 255, 255, 192, 0 [↵] 受 @SSB, 255, 255, 192, 0 [↵] 送 @SSB, 255, 0, 0, 128 [↵] 受 @ERR, 1 [↵]	サブネットマスクを 255.255.192.0(=18bit) に設定する。 正常終了。 サブネットマスクとして不正な値を指定するとエラーが返されます。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GSB	サブネットマスク取得	
コマンド書式	@GSB [↵]	
返り値書式	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @GSB [↵] 受 @GSB, 255, 255, 192, 0 [↵]	サブネットマスクを取得。 サブネットマスクは 255.255.192.0(=18bit)。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	

@SGW	ゲートウェイアドレス設定	
コマンド書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.200	
実行例	送 @SGW, 192, 168, 1, 254[↵] 受 @SGW, 192, 168, 1, 254[↵]	ゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GGW	ゲートウェイアドレス取得	
コマンド書式	@GGW [↵]	
返り値書式	@GGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.200	
実行例	送 @GGW[↵] 受 @GGW, 192, 168, 1, 254[↵]	ゲートウェイアドレスを取得。 ゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	

@SLF	LAN 動作モード設定	
コマンド書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) 	
返り値書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) 	
パラメータ	<p><i>connection</i> : コネクション番号 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8</p> <p><i>mode</i> : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード</p> <p><i>ip_1</i> : 接続先 IP アドレス上位 ~ <i>ip_4</i> : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.198 <i>mode</i> に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p> <p><i>pjlink</i> : PJLink プロトコルでの接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する <i>mode</i> に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p> <p><i>tcp</i> : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 <i>mode</i> に送信モードを指定し、かつ、<i>pjlink</i> に使用しないを指定した場合のみ設定します。</p> <p><i>password</i> : パスワード ASCII コード(P.11)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大32文字まで <i>mode</i> に送信モードを指定し、かつ <i>pjlink</i> に使用するを指定した場合のみ、設定します。 PJLink プロトコルで接続する際にパスワードによる認証を行わない場合は、省略可能です。</p>	
実行例	送 @SLF, 1, 0 	コネクション 1 の動作モード=受信モードに設定する。
	受 @SLF, 1, 0 	正常終了。
	送 @SLF, 2, 1, 192, 168, 1, 1, 0, 1300 	コネクション 2 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接続先ポート番号=1300 に設定する。
	受 @SLF, 2, 1, 192, 168, 1, 1, 0, 1300 	正常終了。
	送 @SLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1, PROJECTOR1 	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」に設定する。
	受 @SLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1, PROJECTOR1 	正常終了。
	送 @SLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1 	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=認証を行なわないに設定する。
	受 @SLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1 	正常終了。
関連項目	7.11.4 LAN 動作モード	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GLF	LAN 動作モード取得		
コマンド書式	@GLF, connection [ ]		
返り値書式	@GLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [ ]		
パラメータ	<p><i>connection</i> : コネクション番号 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8</p> <p><i>mode</i> : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード</p> <p><i>ip_1</i> : 接続先 IP アドレス上位 ~ <i>ip_4</i> : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) ※初期値 192.168.001.198 <i>mode</i> が送信モードの場合のみ、返信されます。</p> <p><i>pjlink</i> : PJLink プロトコルでの接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する <i>mode</i> が送信モードの場合のみ、返信されます。</p> <p><i>tcp</i> : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 <i>mode</i> が送信モードで、かつ <i>pjlink</i> を使用しない場合のみ、返信されます。</p> <p><i>password</i> : パスワード ASCII コード(P.11)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大32文字まで <i>mode</i> が送信モードで、かつ <i>pjlink</i> を使用し、パスワードが設定されている場合のみ返信されます。</p>		
実行例	送 受	<p>@GLF, 1 [ ]</p> <p>@GLF, 1, 0 [ ]</p> <p>@GLF, 2 [ ]</p> <p>@GLF, 2, 1, 192, 168, 1, 1, 0, 1300 [ ]</p> <p>@GLF, 3 [ ]</p> <p>@GLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1, PROJECTOR1 [ ]</p> <p>@GLF, 3 [ ]</p> <p>@GLF, 3, 1, 192, 168, 1, 2, 1 [ ]</p>	<p>コネクション 1 の動作モードを取得する。 動作モード=受信モード。</p> <p>コネクション 2 の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接続先ポート番号=1300。</p> <p>コネクション 3 の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」。</p> <p>コネクション 3 の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=未設定。</p>
関連項目	7.11.4 LAN 動作モード		

@SLP	TCP ポート番号設定	
コマンド書式	@SLP, <i>connection_1</i> , <i>port_1</i> (, <i>connection_2</i> , <i>port_2</i> ···)	
返り値書式	@SLP, <i>connection_1</i> , <i>port_1</i> (, <i>connection_2</i> , <i>port_2</i> ···)	
パラメータ	<i>connection_1-8</i> : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8 <hr/> <i>port_1-8</i> : ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @SLP, 8, 6000 受 @SLP, 8, 6000	コネクション 8 のポート番号を 6000 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.5 TCPポート番号	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GLP	TCP ポート番号取得	
コマンド書式	@GLP	
返り値書式	@GLP, <i>connection_1</i> , <i>connection_2</i> , <i>connection_3</i> , <i>connection_4</i> , <i>connection_5</i> , <i>connection_6</i> , <i>connection_7</i> , <i>connection_8</i>	
パラメータ	<i>connection_1-8</i> : 各コネクションのポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @GLP 受 @GLP, 1100, 1100, 1100, 23, 23, 23, 80, 80	ポート番号を取得。 コネクション 1~3 は 1100, コネクション 4~6 は 23, コ ネクション 7 および 8 は 80。
関連項目	7.11.5 TCPポート番号	

@GMC	MAC アドレス取得	
コマンド書式	@GMC	
返り値書式	@GMC, <i>unit_1</i> , <i>unit_2</i> , <i>unit_3</i> , <i>unit_4</i> , <i>unit_5</i> , <i>unit_6</i>	
パラメータ	<i>unit_1</i> : MAC アドレス上位 ~ <i>unit_6</i> : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット(16 進数表記)	
実行例	送 @GMC 受 @GMC, 00, 08, E5, 3E, 00, 01	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスを返信。
関連項目	7.11.6 MACアドレス表示	

@EXC	制御コマンドの実行	
コマンド書式	@EXC, <i>command_1</i> (, <i>command_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@EXC, <i>command_1</i> (, <i>command_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>command_1-5</i> : 制御コマンド 1 ~ 32 = 制御コマンド個別 (COMMAND 1~32) 33 = DISPLAY POWER ON, 34 = DISPLAY POWER OFF	
実行例	送	@EXC, 1, 2, 3 [ ] COMMAND 1→2→3 の順番に実行する。
	受	@EXC, 1, 2, 3 [ ] 正常終了。
	送	@EXC, 6 [ ] COMMAND 6 を実行する。
	受	@EXC, 6, RECV: POWER OFF [ ] 受信データを表示するコマンドを実行した場合は、受信した結果が返されます。この例ではコマンドを送信した機器から「POWER OFF」と受信しています。
	送	@EXC, 33 [ ] 実行条件 DISPLAY POWER ON に関連付けられているコマンドを実行する。
	受	@ERR, 8, 33 [ ] コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスと実行した制御コマンドが返されます。(複数の制御コマンドを実行した場合は、複数のエラーが返されることがあります)
関連項目	7.12 制御コマンド送信機能	
注意事項	制御コマンドの実行が終了してから結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。	

@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)																									
コマンド書式	@SEC, <i>no</i> , <i>delay</i> , <i>port</i> , <i>memo</i> , <i>length</i> , <i>command</i> , <i>timeout</i> , <i>retry</i> , <i>interval</i> , <i>retryover</i> , <i>display</i> (, <i>recv_1</i> , <i>recv_2</i> ...) [ ]																									
返り値書式	@SEC, <i>no</i> , <i>delay</i> , <i>port</i> , <i>memo</i> , <i>length</i> , <i>command</i> , <i>timeout</i> , <i>retry</i> , <i>interval</i> , <i>retryover</i> , <i>display</i> (, <i>recv_1</i> , <i>recv_2</i> ...) [ ]																									
パラメータ	<i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32																									
	<i>delay</i> : 遅延時間 0 ~ 999999																									
	<i>port</i> : 出力端子 1 ~ 2047																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力端子</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table>			bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0															
出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1															
	コマンドを送信する出力端子に該当するビットを1にします(bit15-bit11は未使用なので常に0を指定します)。例えばRS-232C CH1にコマンドを送信する場合は1(2進数で0000000000000001)を指定し、LAN1とLAN2にコマンドを送信する場合は12(2進数で0000000000001100)を指定します。																									
	<i>memo</i> : メモ ASCIIコード(P.11)の20 ~ 7Dで2C(カンマ)以外の中から最大14文字まで																									
	<i>length</i> : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30																									

	<p><i>command</i> : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で <i>length</i> × 2 桁を指定</p> <p><i>timeout</i> : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p><i>retry</i> : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p><i>interval</i> : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p><i>retryover</i> : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p><i>display</i> : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0を指定します</p> <p><i>recv_1-32</i> : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号を指定し、複数チェックする場合はカンマで区切って最大 32 個まで指定可能 チェックする返信コマンド番号のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった返信コマンドについては自動的に全て「チェックしない」に設定されます。 返信コマンドは、@SRC 返信コマンド設定 (P. 79) で登録します。</p>	
実行例	<p>送 @SEC, 1, 10, 3, POWER, 7, 5057204F4E0D0A, 1000, 2, 500, 0, 0, 1, 2☑</p> <p>受 @SEC, 1, 10, 3, POWER, 7, 5057204F4E0D0A, 1000, 2, 500, 0, 0, 1, 2☑</p>	<p>制御コマンド番号 1 に以下の内容で登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 10ms</li> <li>・ 出力端子 : RS-232C CH1 &amp; RS-232C CH2</li> <li>・ メモ : POWER</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 1000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : 表示しない</li> <li>・ 返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>
	<p>送 @SEC, 2, 0, 1024, IN1 SELECT, 10, 405353572C312C310D0A, 0, 0, 0, 1, 0☑</p> <p>受 @SEC, 2, 0, 1024, IN1 SELECT, 10, 405353572C312C310D0A, 0, 0, 0, 1, 0☑</p>	<p>制御コマンド番号 2 に以下の内容で登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力端子 : LOOP BACK</li> <li>・ メモ : IN1 SELECT</li> <li>・ データサイズ : 10 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : @SSW, 1, 1CR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 0ms</li> <li>・ リトライ回数 : 0 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 0ms</li> <li>・ リトライオーバー : 継続する</li> <li>・ 受信データ : 表示しない</li> <li>・ 返信コマンド : チェックしない</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)																									
コマンド書式	@GEC, no [ ]																									
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2...) [ ]																									
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : 出力端子 1 ~ 2047</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力端子</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力端子に該当するビットが1になります(bit15-bit11は未使用なので常に0になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2進数で0000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2進数で0000000000001100)になります。</p> <p>memo : メモ ASCII コード(P. 11)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 になります</p> <p>recv_1-32 : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号をカンマで区切って返信</p>			bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0															
出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1															
実行例	送 受	<p>@GEC, 1 [ ]</p> <p>@GEC, 1, 10, 3, POWER, 7, 5057204F4E0D0A, 1000, 2, 500, 0, 0, 1, 2 [ ]</p> <p>制御コマンド番号 1 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 10ms</li> <li>・ 出力端子 : RS-232C CH1 &amp; RS-232C CH2</li> <li>・ メモ : POWER</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 1000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : 表示しない</li> <li>・ 返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>																								

送受	@GEC, 2☑ @SEC, 2, 0, 1024, IN1 SELECT, 10, 405353572C312C310D0A, 0, 0, 0, 1, 0☑	制御コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 ・ 遅延時間 : 0ms ・ 出力端子 : LOOP BACK ・ メモ : IN1 SELECT ・ データサイズ : 10 バイト ・ コマンドデータ : @SSW, 1, 1CR LF (ASCII コード) ・ タイムアウト : 0ms ・ リトライ回数 : 0 回 ・ リトライ間隔 : 0ms ・ リトライオーバー : 継続する ・ 受信データ : 表示しない ・ 返信コマンド : チェックしない
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)																								
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☑																								
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☑																								
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : 出力端子 1 ~ 2047</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力端子</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力端子に該当するビットを1にします(bit15-bit11は未使用なので常に0を指定します)。例えばRS-232C CH1にコマンドを送信する場合は1(2進数で0000000000000001)を指定し、LAN1とLAN2にコマンドを送信する場合は12(2進数で0000000000001100)を指定します。</p> <p>memo : メモ ASCIIコード(P.11)の20 ~ 7Dで2C(カンマ)以外の中から最大14文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)でlength×2桁を指定</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 1 = ASCIIコードで表示する, 2 = 16進数で表示する</p>		bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0														
出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1														

	<i>delimiter</i> : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で2桁を指定 100 = デリミタを監視しない	
実行例	送 @SEC, 3, 0, 512, POWER STATUS, 9, 47455420504F570DOA, 2000, 2, 200, 0, 1, 0D☑ 受 @SEC, 3, 0, 512, POWER STATUS, 9, 47455420504F570DOA, 2000, 2, 200, 0, 1, 0D☑	制御コマンド番号3に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・出力端子 : LAN8 ・メモ : POWER STATUS ・データサイズ : 9バイト ・コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCIIコード) ・タイムアウト : 2000ms ・リトライ回数 : 2回 ・リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 停止する ・受信データ : ASCIIコードで表示する ・デリミタ : 0D=16進数(CR=ASCIIコード)
	送 @SEC, 4, 0, 128, INPUT, 7, 494E53454C0DOA, 2500, 4, 100, 1, 2, 100☑ 受 @SEC, 4, 0, 128, INPUT, 7, 494E53454C0DOA, 2500, 4, 100, 1, 2, 100☑	制御コマンド番号4に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・出力端子 : LAN6 ・メモ : INPUT ・データサイズ : 7バイト ・コマンドデータ : INSEL CR LF (ASCIIコード) ・タイムアウト : 2500ms ・リトライ回数 : 4回 ・リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 継続する ・受信データ : 16進数で表示する ・返信コマンド : デリミタを監視しない
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)																																			
コマンド書式	@GEC, no ☑																																			
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☑																																			
パラメータ	<i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32 <hr/> <i>delay</i> : 遅延時間 0 ~ 999999 <hr/> <i>port</i> : 出力端子 1 ~ 2047 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>bit10</td> <td>bit9</td> <td>bit8</td> <td>bit7</td> <td>bit6</td> <td>bit5</td> <td>bit4</td> <td>bit3</td> <td>bit2</td> <td>bit1</td> <td>bit0</td> </tr> <tr> <td>出力端子</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </table> <p>コマンドを送信する出力端子に該当するビットが1になります(bit15-bit11は未使用なので常に0になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2進数で000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2進数で0000000000001100)になります。</p>													bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0																									
出力端子	LOOP BACK	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2	LAN1	RS-232C CH2	RS-232C CH1																									

	<p><i>memo</i> : メモ ASCII コード(P.11)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで</p> <p><i>length</i> : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p><i>command</i> : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で <i>length</i>×2 桁</p> <p><i>timeout</i> : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p><i>retry</i> : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p><i>interval</i> : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p><i>retryover</i> : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p><i>display</i> : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16進数で表示する</p> <p><i>delimiter</i> : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で 2 桁 100 = デリミタを監視しない</p>		
実行例	送 受	<p>@GEC, 3 ㊦</p> <p>@GEC, 3, 0, 512, POWER STATUS, 9, 47455420504F570D0A, 2000, 2, 200, 0, 1, 0D ㊦</p>	<p>制御コマンド番号 3 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力端子 : LAN8</li> <li>・ メモ : POWER STATUS</li> <li>・ データサイズ : 9 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・ デリミタ : 0D=16進数(CR=ASCII コード)</li> </ul>
	送 受	<p>@GEC, 4 ㊦</p> <p>@GEC, 4, 0, 128, INPUT, 7, 494E53454C0D0A, 2500, 4, 100, 1, 2, 100 ㊦</p>	<p>制御コマンド番号 4 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力端子 : LAN6</li> <li>・ メモ : INPUT</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : INSELCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2500ms</li> <li>・ リトライ回数 : 4 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 継続する</li> <li>・ 受信データ : 16進数で表示する</li> <li>・ 返信コマンド : デリミタを監視しない</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集		

@SEC	制御コマンド設定(CEC制御)	
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2) 	
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2) 	
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : CEC 制御 2048 = CEC 制御の場合は、2048 を指定します</p> <p>memo : メモ ASCII コード(P. 11)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>ch_1-2 : 出力番号 1 = OUT A, 2 = OUT B</p> <p>cec_1-2 : 制御コマンド 0 =制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON</p> <p>制御する出力のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった出力については自動的に全て「制御しない」に設定されるため、通常は cec_1-2 に「0=制御しない」のパラメータを送信する必要はありません。</p>	
実行例	<p>送 @SEC, 7, 0, 2048, DISPLAY1 ON, 0, 1, 2 </p> <p>受 @SEC, 7, 0, 2048, DISPLAY1 ON, 0, 1, 2 </p>	<p>制御コマンド番号 7 に以下の内容で登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0ms</li> <li>・メモ : DISPLAY1 ON</li> <li>・エラー時 : 停止する</li> <li>・出力に接続された機器の電源を ON する</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(CEC制御)	
コマンド書式	@GEC, no [ ]	
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2) [ ]	
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	delay : 遅延時間 0 ~ 999999	
	port : CEC 制御 2048 = CEC 制御の場合は、2048 を指定します	
	memo : メモ ASCII コード(P. 11)の 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで	
	error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する	
	ch_1-2 : 出力番号 1 = OUT A, 2 = OUT B,	
	cec_1-2 : 制御コマンド 0 =制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON	
	制御する出力の設定のみ送信します。	
実行例	送 @GEC, 7 [ ] 受 @GEC, 7, 0, 2048, DISPLAY1 ON, 0, 1, 2 [ ]	制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。 ・遅延時間 : 0ms ・メモ : DISPLAY1 ON ・エラー時 : 停止する ・出力に接続された機器の電源を ON する
関連項目	7. 12. 1 制御コマンド 作成・編集	

@SRC	返信コマンド設定		
コマンド書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐		
返り値書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐		
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32		
	process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する		
	length : 返信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30		
	command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁を指定		
	mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁を指定		
	memo : メモ ASCIIコード(P.11)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで		
実行例	送	@SRC, 1, 1, 9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF, OK☐	返信コマンド番号 1 に以下の内容で登録する。 ・処理判定 : 継続する ・データサイズ : 9 バイト ・コマンドデータ : RECV OKCR LF (ASCIIコード) ・マスクデータ : 全て FF (全ビットチェック) ・メモ : OK
	受	@SRC, 1, 1, 9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF, OK☐	
	送	@SRC, 2, 0, 1, 40, 40, NG☐	返信コマンド番号 2 に以下の内容で登録する。 ・処理判定 : 停止する ・データサイズ : 1 バイト ・コマンドデータ : 40 (16進数) ・マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目をチェック) ・メモ : NG
	受	@SRC, 2, 0, 1, 40, 40, NG☐	
関連項目	7.12.2 返信コマンド 作成・編集		

@GRC	返信コマンド取得	
コマンド書式	@GRC, no ☐	
返り値書式	@GRC, no, process, length, command, mask, memo ☐	
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する	
	length : 返信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30	
	command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁	
	mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁	
	memo : メモ ASCIIコード(P.11)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで	

実行例	送	@GRC, 1☑	返信コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 ・処理判定 : 継続する ・データサイズ : 9 バイト ・コマンドデータ : RECV OKCR LF (ASCII コード) ・マスクデータ : 全て FF (全ビットチェック) ・メモ : OK
	受	@GRC, 1, 1, 9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF, OK☑	
関連項目	送	@GRC, 2☑	返信コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 ・処理判定 : 停止する ・データサイズ : 1 バイト ・コマンドデータ : 40 (16 進数) ・マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目をチェック) ・メモ : NG
	受	@GRC, 2, 0, 1, 40, 40, NG☑	
関連項目		7.12.2 返信コマンド 作成・編集	

<b>@SCC</b>	<b>制御コマンド 関連付け設定</b>		
コマンド書式	@SCC, event, c_1(, c_2, c_3... ) ☑		
返り値書式	@SCC, event, c_1(, c_2, c_3... ) ☑		
パラメータ	event : コマンド実行条件 1 = DISPLAY POWER ON, 2 = DISPLAY POWER OFF		
	c_1-10 : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32 @SEC 制御コマンド設定(通信コマンド制御)(P. 71)、@SEC 制御コマンド設定(受信データの表示)(P. 74)、@SEC 制御コマンド設定(CEC制御)(P. 77)のいずれかで登録した制御コマンドを関連付けます		
実行例	送	@SCC, 0, 5, 2, 1☑	DISPLAY POWER ON 時に制御コマンド 5、制御コマンド 2、 制御コマンド 1 の順で実行する。
	受	@SCC, 0, 5, 2, 1☑	
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け		

<b>@GCC</b>	<b>制御コマンド 関連付け取得</b>		
コマンド書式	@GCC, event ☑		
返り値書式	@GCC, event, c_1(, c_2, c_3... ) ☑		
パラメータ	event : コマンド実行条件 1 = DISPLAY POWER ON, 2 = DISPLAY POWER OFF		
	c_1-10 : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32		
実行例	送	@GCC, 1☑	DISPLAY POWER ON 時に関連付けられている制御コマンドを 取得。 制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
	受	@GCC, 1, 5, 2, 1☑	
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け		

@SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間設定	
コマンド書式	@SIT, <i>time</i> [↵]	
返り値書式	@SIT, <i>time</i> [↵]	
パラメータ	<i>time</i> : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @SIT, 2000 [↵] 受 @SIT, 2000 [↵]	制御コマンド実行時の操作無効時間を 2000ms (2 秒) に設定する。 正常終了。
関連項目	7.12.4 制御コマンド実行時の操作無効時間	

@GIT	制御コマンド実行時の操作無効時間取得	
コマンド書式	@GIT [↵]	
返り値書式	@GIT, <i>time</i> [↵]	
パラメータ	<i>time</i> : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @GIT [↵] 受 @GIT, 2000 [↵]	制御コマンド実行時の操作無効時間を取得。 制御コマンド実行中または制御コマンド開始後 2000ms (2 秒) 経過するまでは操作無効。
関連項目	7.12.4 制御コマンド実行時の操作無効時間	

@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	
コマンド書式	@DEC, <i>no_1</i> (, <i>no_2</i> , <i>no_3</i> ...) [↵]	
返り値書式	@DEC, <i>no_1</i> (, <i>no_2</i> , <i>no_3</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>no_1</i> -32 : 消去するコマンドまたは関連付け 1 ~ 32 : 制御コマンド 1 ~ 32 101 ~ 132 : 返信コマンド 1 ~ 32 201 = DISPLAY POWER ON, 202 = DISPLAY POWER OFF	
実行例	送 @DEC, 201 [↵] 受 @DEC, 201 [↵]	DISPLAY POWER ON の関連付けを消去する。 正常終了。
関連項目	7.12.5 登録したコマンドおよび関連付けの消去	

@STF	表示機器電源スイッチ 点滅時間設定	
コマンド書式	@STF, <i>flash</i> [↵]	
返り値書式	@STF, <i>flash</i> [↵]	
パラメータ	<i>flash</i> : 点滅時間 -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない, 1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅 ※初期値 -1 (制御コマンド実行中に点滅)	
実行例	送 @STF, 5 [↵] 受 @STF, 5 [↵]	表示機器電源スイッチは、制御コマンド実行開始後 5 秒間点滅する。 正常終了。
関連項目	7.12.6 表示機器電源スイッチ 点滅時間	

@GTF	表示機器電源スイッチ 点滅時間取得	
コマンド書式	@GTF [ ]	
返り値書式	@GTF, <i>flash</i> [ ]	
パラメータ	<i>flash</i> : 点滅時間 -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない, 1 ~ 1000 = 1秒 ~ 1000秒まで指定された時間点滅 ※初期値 -1 (制御コマンド実行中に点滅)	
実行例	送 @GTF [ ]	表示機器電源スイッチの点滅時間を取得。
	受 @GTF, -1 [ ]	制御コマンド実行中に点滅。
関連項目	7.12.6 表示機器電源スイッチ 点滅時間	

@RCM	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCM, <i>memory</i> [ ]	
返り値書式	@RCM, <i>memory</i> [ ]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6	
実行例	送 @RCM, 1 [ ]	クロスポイントメモリ1の映像・音声チャンネルを読み出す。
	受 @RCM, 1 [ ]	正常終了。
	送 @RCM, 6 [ ]	データが登録されていないメモリは読み出すことができません。
	受 @ERR, 3 [ ]	
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

@SCM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を保存する	
コマンド書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [ ]	
返り値書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [ ]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6	
	<i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.11)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像・音声チャンネルをクロスポイントメモリ2に保存する。	
	送 @SCM, 2 [ ]	[メモリ名を省略した場合]
	受 @SCM, 2 [ ]	
	送 @SCM, 2, PATTERN2 [ ]	[メモリ名を指定した場合]
	受 @SCM, 2, PATTERN2 [ ]	
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@GCM</b>	<b>クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する</b>	
コマンド書式	<b>@GCM, memory</b> [↵]	
返り値書式	<b>@GCM, memory, video, audio, name</b> [↵]	
パラメータ	<p><i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6</p> <hr/> <p><i>video</i> : 映像出力 <i>audio</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6</p> <p>工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ (@SCV) または音声のみ (@SCA) を保存した場合、保存していない音声または映像は「制御しない」が返信されます。</p> <hr/> <p><i>name</i> : メモリ名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで</p>	
実行例	送 @GCM, 2 [↵] 受 @GCM, 2, 3, 3, PATTERN2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 の映像・音声チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、映像・音声ともに入力チャンネル 3 (IN3) が保存されている。
関連項目	7.13 プリセットメモリ	

<b>@RCV</b>	<b>クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す</b>	
コマンド書式	<b>@RCV, memory</b> [↵]	
返り値書式	<b>@RCV, memory</b> [↵]	
パラメータ	<p><i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6</p>	
実行例	送 @RCV, 1 [↵] 受 @RCV, 1 [↵]	クロスポイントメモリ 1 の映像チャンネルを読み出す。 正常終了。
	送 @RCV, 6 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	データが登録されていないメモリは読み出すことができません。
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCV</b>	<b>クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を保存する</b>	
コマンド書式	<b>@SCV, memory (, name)</b> [↵]	
返り値書式	<b>@SCV, memory (, name)</b> [↵]	
パラメータ	<p><i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6</p> <hr/> <p><i>name</i> : メモリ名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。</p>	
実行例	現在の映像チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。	
	送 @SCV, 2 [↵] 受 @SCV, 2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCV, 2, PATTERN2 [↵] 受 @SCV, 2, PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@GCV</b>	<b>クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する</b>	
コマンド書式	@GCV, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@GCV, <i>memory</i> , <i>video</i> , <i>name</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6 <hr/> <i>video</i> : 映像出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ (@SCV) または音声のみ (@SCA) を保存した場合、保存していない音声または映像は「制御しない」が返信されます。	
実行例	送 @GCV, 2 [↵] 受 @GCV, 2, 3, PATTERN2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 の映像チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、入力チャンネル 3 (IN3) が保存されている。
関連項目	7.13 プリセットメモリ	

<b>@RCA</b>	<b>クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す</b>	
コマンド書式	@RCA, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@RCA, <i>memory</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6	
実行例	送 @RCA, 1 [↵] 受 @RCA, 1 [↵]	クロスポイントメモリ 1 の音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
	送 @RCA, 6 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	データが登録されていないメモリは読み出すことができません。
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCA</b>	<b>クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を保存する</b>	
コマンド書式	@SCA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SCA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6 <hr/> <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。	
	送 @SCA, 2 [↵] 受 @SCA, 2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCA, 2, PATTERN2 [↵] 受 @SCA, 2, PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@GCA</b>	<b>クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する</b>	
コマンド書式	@GCA, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@GCA, <i>memory</i> , <i>audio</i> , <i>name</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 6 <hr/> <i>audio</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ (@SCV) または音声のみ (@SCA) を保存した場合、保存していない音声または映像は「制御しない」が返信されます。 <hr/> <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで	
実行例	送 @GCA, 2 [↵] 受 @GCA, 2, 3, PATTERN2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前、入力チャンネル 3 (IN3) が保存されている。
関連項目	7.13 プリセットメモリ	

<b>@RPM</b>	<b>プリセットメモリから全設定を読み出す</b>	
コマンド書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
返り値書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ 1 ~ 6	
実行例	送 @RPM, 3 [↵] 受 @RPM, 3 [↵]	プリセットメモリ 3 を読み出す。 正常終了。
	送 @RPM, 6 [↵] 受 @ERR, 3 [↵]	データが登録されていないプリセットメモリは読み出すことができません。
関連項目	7.13.3 全設定の読み出し	
注意事項	この操作を行うと、一部の環境設定を除く、映像および音声の入出力に関する全ての設定が更新されます。操作には十分にご注意ください。	

<b>@SPM</b>	<b>プリセットメモリに全設定を保存する</b>	
コマンド書式	@SPM, <i>preset</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SPM, <i>preset</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ 1 ~ 6 <hr/> <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード (P. 11) の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに各種設定のみ保存します。	
実行例	現在の設定をプリセットメモリ 2 に保存する。	
	送 @SPM, 2 [↵] 受 @SPM, 2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SPM, 2, MEMORY2 [↵] 受 @SPM, 2, MEMORY2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.4 全設定の保存	

@SMU	電源投入時の状態設定	
コマンド書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 6 = クロスポイントメモリ 1 ~ 6, 7 = チャンネル OFF, 8 = ラストチャンネル ※初期値, 9 ~ 14 = プリセットメモリ 1 ~ 6	
実行例	送 @SMU, 3 <input type="checkbox"/> 受 @SMU, 3 <input type="checkbox"/>	電源投入時のチャンネル設定をクロスポイントメモリ3に設定する。 正常終了。
関連項目	7.13.5 電源投入時の設定	

@GMU	電源投入時の状態取得	
コマンド書式	@GMU <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 6 = クロスポイントメモリ 1 ~ 6, 7 = チャンネル OFF, 8 = ラストチャンネル ※初期値, 9 ~ 14 = プリセットメモリ 1 ~ 6	
実行例	送 @GMU <input type="checkbox"/> 受 @GMU, 3 <input type="checkbox"/>	電源投入時の状態を取得。 電源投入時はクロスポイントメモリ 3 に保存されたチャンネル設定 で起動する。
関連項目	7.13.5 電源投入時の設定	

@SPV	パラレル入力 音声レベル操作スイッチ設定	
コマンド書式	@SPV, mixing, master <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SPV, mixing, master <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mixing : ミキシングレベルの操作スイッチ 0 = ロータリーエンコーダ, 1 = プッシュスイッチ ※初期値 ----- master : 音声出力レベルの操作スイッチ 0 = ロータリーエンコーダ, 1 = プッシュスイッチ ※初期値	
実行例	送 @SPV, 0, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SPV, 0, 0 <input type="checkbox"/>	音声レベルの操作スイッチをロータリーエンコーダに設定する。 正常終了
関連項目	7.14.1 パラレル入力 音声レベル操作スイッチ	

@GPV	パラレル入力 音声レベル操作スイッチ取得	
コマンド書式	@GPV <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GPV, mixing, master <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mixing : ミキシングレベルの操作スイッチ 0 = ロータリーエンコーダ, 1 = プッシュスイッチ ※初期値 ----- master : 音声出力レベルの操作スイッチ 0 = ロータリーエンコーダ, 1 = プッシュスイッチ ※初期値	
実行例	送 @GPV <input type="checkbox"/> 受 @GPV, 0, 0 <input type="checkbox"/>	音声レベル操作スイッチの種別を取得。 ロータリーエンコーダ。
関連項目	7.14.1 パラレル入力 音声レベル操作スイッチ	

<b>@SPP</b>	<b>パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数設定</b>	
コマンド書式	@SPP, <i>pluse</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SPP, <i>pulse</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>pulse</i> : クリック数 1 ~ 50 ※初期値 5	
実行例	送 @SPP, 10 <input type="checkbox"/> 受 @SPP, 10 <input type="checkbox"/>	ロータリーエンコーダ 10 回のクリックで設定を可変する。 正常終了
関連項目	7. 14. 2 パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数	

<b>@GPP</b>	<b>パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数取得</b>	
コマンド書式	@GPP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GPP, <i>pulse</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>pulse</i> : クリック数 1 ~ 50 ※初期値 5	
実行例	送 @GPP <input type="checkbox"/> 受 @GPP, 10 <input type="checkbox"/>	設定を可変するためのロータリーエンコーダのクリック数を取得。 10 クリック。
関連項目	7. 14. 2 パラレル入力 ロータリーエンコーダクリック数	

<b>@SPL</b>	<b>パラレル入力 ロック設定/解除</b>	
コマンド書式	@SPL, <i>lock</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SPL, <i>lock</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>lock</i> : ロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効, 2 = 現在の設定を逆にする	
実行例	送 @SPL, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SPL, 1 <input type="checkbox"/>	パラレル入力をロックする。 正常終了
関連項目	7. 14. 3 パラレル入力 ロック設定	

<b>@GPL</b>	<b>パラレル入力 ロック状態取得</b>	
コマンド書式	@GPL <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GPL, <i>lock</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>lock</i> : ロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効	
実行例	送 @GPL <input type="checkbox"/> 受 @GPL, 1 <input type="checkbox"/>	パラレル入力 ロック状態を取得。 キーロック中。
関連項目	7. 14. 3 パラレル入力 ロック設定	

<b>@SPN</b>	<b>パラレル入力 チャンネル切換モード設定</b>	
コマンド書式	@SPN, <i>sw_mode</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SPN, <i>sw_mode</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>sw_mode</i> : パラレル入力 チャンネル切換モード 0 = 映像&音声同時切換 ※初期値, 1 = 映像のみ切換, 2 = 音声のみ切換	
実行例	送 @SPN, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SPN, 0 <input type="checkbox"/>	映像&音声同時切り換えに設定する。 正常終了。
関連項目	7. 14. 4 パラレル入力 チャンネル切換モード	

<b>@GPN</b>	<b>パラレル入力 チャンネル切換モード取得</b>	
コマンド書式	@GPN <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GPN, <i>sw_mode</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>sw_mode</i> : パラレル入力 チャンネル切換モード 0 = 映像&音声同時切換 ※初期値, 1 = 映像のみ切換, 2 = 音声のみ切換	
実行例	送 @GPN <input type="checkbox"/> 受 @GPN, 0 <input type="checkbox"/>	パラレル入力 チャンネル切換モードを取得。 映像&音声同時切り換えに設定されている。
関連項目	7. 14. 4 パラレル入力 チャンネル切換モード	

<b>@SPT</b>	<b>パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作設定</b>	
コマンド書式	@SPT, <i>toggle</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SPT, <i>toggle</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>toggle</i> : トグル動作設定 0 = トグル動作しない ※初期値, 1 = トグル動作する	
実行例	送 @SPT, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SPT, 0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル選択時にトグル動作しない。 正常終了
関連項目	7. 14. 5 パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作設定	

<b>@GPT</b>	<b>パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作取得</b>	
コマンド書式	@GPT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GPT, <i>toggle</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>toggle</i> : トグル動作設定 0 = トグル動作しない ※初期値, 1 = トグル動作する	
実行例	送 @GPT <input type="checkbox"/> 受 @GPT, 0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル選択時のトグル動作を取得。 トグル動作しない。
関連項目	7. 14. 5 パラレル入力 チャンネル切換のトグル動作設定	

<b>@SFP</b>	<b>チャタリング除去時間設定</b>	
コマンド書式	@SFP, <i>swich</i> , <i>encoder</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFP, <i>swich</i> , <i>encoder</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>switch</i> : プッシュスイッチのチャタリング除去時間 0 ~ 300 ※初期値 30 <i>encoder</i> : ロータリーエンコーダのチャタリング除去時間 0 ~ 300 ※初期値 0	
実行例	送 @SFP, 10, 2 <input type="checkbox"/> 受 @SFP, 10, 2 <input type="checkbox"/>	プッシュスイッチのチャタリング除去時間を10ms、ロータリーエンコーダのチャタリング除去時間を2msに設定する。 正常終了。
関連項目	7. 14. 6 パラレル入力 チャタリング除去時間	

@GFP	チャタリング除去時間取得	
コマンド書式	@GFP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GFP, <i>swicth</i> , <i>encoder</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>switch</i> : プッシュスイッチのチャタリング除去時間 0 ~ 300 ※初期値 30	
	<i>encoder</i> : ロータリーエンコーダのチャタリング除去時間 0 ~ 300 ※初期値 0	
実行例	送 @GFP <input type="checkbox"/> 受 @GFP, 10, 2 <input type="checkbox"/>	チャタリング除去時間を取得。 プッシュスイッチは 10ms、ロータリーエンコーダは 2ms。
関連項目	7.14.6 パラレル入力 チャタリング除去時間	

@SBM	ビットマップ画像の出力設定	
コマンド書式	@SBM, <i>ch</i> , <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBM, <i>ch</i> , <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @SBM, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SBM, 1, 1 <input type="checkbox"/>	通常の映像の代わりにビットマップ画像を出力する。 正常終了。
関連項目	7.17.2 ビットマップ画像の出力	

@GBM	ビットマップ画像の出力取得	
コマンド書式	@GBM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBM, <i>out</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @GBM <input type="checkbox"/> 受 @GBM, 1 <input type="checkbox"/>	出力されている映像を取得。 ビットマップ画像を出力している。
関連項目	7.17.2 ビットマップ画像の出力	

@SBB	ビットマップ バックカラー設定	
コマンド書式	@SBB, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBB, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください	
	<i>red</i> : バックカラー(赤) <i>green</i> : バックカラー(緑) <i>blue</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SBB, 1, 255, 255, 255 <input type="checkbox"/> 受 @SBB, 1, 255, 255, 255 <input type="checkbox"/>	バックカラーを RGB とともに 255(白色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.17.3 バックカラー	

@GBB	ビットマップ バックカラー取得	
コマンド書式	@GBB, <i>ch</i> ↵	
返り値書式	@GBB, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ↵	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>red</i> : バックカラー(赤) <i>green</i> : バックカラー(緑) <i>blue</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GBB, 1 ↵ 受 @GBB, 1, 255, 255, 255 ↵	バックカラーを取得。 バックカラーは RGB ともに 255 (白色)。
関連項目	7.17.3 バックカラー	

@STC	ビットマップ 透過色設定	
コマンド書式	@STC, <i>ch</i> , <i>pallet</i> ↵	
返り値書式	@STC, <i>ch</i> , <i>pallet</i> ↵	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>pallet</i> : カラーパレットの番号 0 = OFF (透過しない) ※初期値, 1 ~ n (ビットマップデータの色数により最大パラメータ n は変わります)	
実行例	送 @STC, 1, 0 ↵ 受 @STC, 1, 0 ↵ 送 @STC, 1, 2 ↵ 受 @STC, 1, 2 ↵	ビットマップは透過しない。 正常終了。 カラーパレット 2 番に登録されている色をバックカラーに置き換える。 正常終了。
関連項目	7.17.4 透過色	

@GTC	ビットマップ 透過色取得	
コマンド書式	@GTC ↵	
返り値書式	@GTC, <i>pallet</i> ↵	
パラメータ	<i>pallet</i> : カラーパレットの番号 0 = OFF (透過しない) ※初期値, 1 ~ n (ビットマップデータの色数により最大パラメータ n は変わります)	
実行例	送 @GTC ↵ 受 @GTC, 0 ↵	透過色を取得。 ビットマップは透過しない。
関連項目	7.17.4 透過色	

@SZP	ビットマップ 拡大表示設定	
コマンド書式	@SZP, <i>ch</i> , <i>hzoom</i> , <i>vzoom</i> , <i>position</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SZP, <i>ch</i> , <i>hzoom</i> , <i>vzoom</i> , <i>position</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>hzoom</i> : 水平拡大率 <i>vzoom</i> : 垂直拡大率 0 = AUTO ※初期値, 1 = x1, 2 = x2, 3 = x4, 4 = x8, 5 = x16 <hr/> <i>position</i> : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	送 @SZP, 1, 2, 2, 1 <input type="checkbox"/>	水平、垂直ともに2倍に拡大して左上に表示する。
	受 @SZP, 1, 2, 2, 1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.17.5 拡大表示	

@GZP	ビットマップ 拡大表示取得	
コマンド書式	@GZP, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GZP, <i>ch</i> , <i>hzoom</i> , <i>vzoom</i> , <i>position</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>hzoom</i> : 水平拡大率 <i>vzoom</i> : 垂直拡大率 0 = AUTO ※初期値, 1 = x1, 2 = x2, 3 = x4, 4 = x8, 5 = x16 <hr/> <i>position</i> : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	送 @GZP, 1 <input type="checkbox"/>	拡大表示設定を取得。
	受 @GZP, 1, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	水平、垂直ともに自動サイズ設定で中央に表示する。
関連項目	7.17.5 拡大表示	

@SBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て設定	
コマンド書式	@SBA, <i>ch</i> , <i>input</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBA, <i>ch</i> , <i>input</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください <hr/> <i>input</i> : 入力チャンネル割り当て 0 = NONE ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
実行例	送 @SBA, 1, 6 <input type="checkbox"/>	IN6 にビットマップを割り当てる。(IN6 を選択するとビットマップが出力されます)
	受 @SBA, 1, 6 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.17.6 入力チャンネル割り当て	

<b>@GBA</b>	<b>ビットマップ 入力チャンネル割り当て取得</b>	
コマンド書式	@GBA [ ]	
返り値書式	@GBA, <i>out</i> [ ]	
パラメータ	<i>out</i> : 入力チャンネル割り当て 0 = NONE ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6	
実行例	送 @GBA [ ] 受 @GBA, 1 [ ]	ビットマップの入力チャンネル割り当てを取得。 IN1 にビットマップが割り当てられている。
関連項目	7.17.6 入力チャンネル割り当て	

<b>@SPB</b>	<b>電源投入時のビットマップ画像の出力設定</b>	
コマンド書式	@SPB, <i>out</i> [ ]	
返り値書式	@SPB, <i>out</i> [ ]	
パラメータ	<i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SPB, 0 [ ] 受 @SPB, 0 [ ]	電源投入時にビットマップ画像を出力しない。 正常終了。
関連項目	7.17.7 電源投入時のビットマップ画像の出力	

<b>@GPB</b>	<b>電源投入時のビットマップ画像の出力取得</b>	
コマンド書式	@GPB [ ]	
返り値書式	@GPB, <i>out</i> [ ]	
パラメータ	<i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GPB [ ] 受 @GPB, 0 [ ]	電源投入時のビットマップ画像出力を取得。 ビットマップを出力しない。
関連項目	7.17.7 電源投入時のビットマップ画像の出力	

<b>@SLS</b>	<b>キーロック設定/解除</b>	
コマンド書式	@SLS, <i>lock</i> [ ]	
返り値書式	@SLS, <i>lock</i> [ ]	
パラメータ	<i>lock</i> : キーロック設定 0 = キーロック解除 ※初期値, 1 = キーロック, 2 = 現在の設定を逆にする	
実行例	送 @SLS, 1 [ ] 受 @SLS, 1 [ ]	フロントパネルをロックする。 正常終了。
関連項目	6.6 キーロック設定/解除の操作	

<b>@GLS</b>	<b>キーロック状態取得</b>	
コマンド書式	@GLS [ ]	
返り値書式	@GLS, <i>lock</i> [ ]	
パラメータ	<i>lock</i> : キーロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効	
実行例	送 @GLS [ ] 受 @GLS, 1 [ ]	キーロック状態を取得。 フロントパネルはキーロック中。
関連項目	6.6 キーロック設定/解除の操作	

<b>@SLM</b>	<b>フロントパネル キーロック対象の設定</b>	
コマンド書式	@SLM, channel, menu, power <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLM, channel, menu, power <input type="checkbox"/>	
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー menu : メニュー制御キー power : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送 @SLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル選択キーのみをキーロック対象にする。 正常終了。
関連項目	7.18.1 キーロック対象の設定	

<b>@GLM</b>	<b>フロントパネル キーロック対象の取得</b>	
コマンド書式	@GLM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GLM, channel, menu, power <input type="checkbox"/>	
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー menu : メニュー制御キー power : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送 @GLM <input type="checkbox"/> 受 @GLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	キーロック設定の状態を取得する。 入力チャンネル選択キーのみがキーロック対象。
関連項目	7.18.1 キーロック対象の設定	

<b>@SBZ</b>	<b>ブザー音設定</b>	
コマンド書式	@SBZ, bz <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBZ, bz <input type="checkbox"/>	
パラメータ	bz : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SBZ, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SBZ, 1 <input type="checkbox"/>	ブザー音を ON に設定する。 正常終了。
関連項目	7.18.2 ブザー音	

<b>@GBZ</b>	<b>ブザー音設定取得</b>	
コマンド書式	@GBZ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBZ, bz <input type="checkbox"/>	
パラメータ	bz : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GBZ <input type="checkbox"/> 受 @GBZ, 1 <input type="checkbox"/>	ブザー音の状態を取得。 ブザー音は ON に設定されている。
関連項目	7.18.2 ブザー音	

@GSS	入出力ステータス取得																																				
コマンド書式	@GSS, channel, mode 																																				
返り値書式	@GSS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3...) 																																				
パラメータ	<p>channel : 入出力端子 0 = IN1, 1 = IN2, 2 = IN3, 3 = IN4, 4 = IN5, 5 = IN6, 6 = OUT A, 7 = OUT B</p> <hr/> <p>mode : 取得するステータス</p> <p>channel = 0~2 の場合 0 = 1~4 の全て, 1 = 入力信号の種類 <sup>※1</sup>, 2 = 映像入力信号のフォーマット <sup>※2</sup>, 3 = 音声入力信号のフォーマット <sup>※3</sup>, 4 = HDCP 入力の有無</p> <p>channel = 3~5 の場合 0 = 1~2 の全て, 1 = 入力信号の種類 <sup>※1</sup>, 2 = 映像入力信号のフォーマット <sup>※2</sup>,</p> <p>channel = 6~7 の場合 0 = 1~3 の全て, 1 = HDCP の認証状態 <sup>※4</sup>, 2 = 出力信号の種類 <sup>※5</sup>, 3 = エラーコード <sup>※6</sup></p> <p>※1 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>R</td> <td>アナログ RGB 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>アナログ YPbPr 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>アナログ VIDEO 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>800 x 600 60.00Hz</td> <td>RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>NTSC</td> <td>アナログ VIDEO 信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します</td> </tr> <tr> <td>56.83kHz 60.02Hz</td> <td>本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)</td> <td>マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります	D	DVI 信号が入力されています	R	アナログ RGB 信号が入力されています	Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています	V	アナログ VIDEO 信号が入力されています	N	信号が入力されていません	返信例	映像入力信号のフォーマット	1080i 59.94Hz	SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します	800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します	NTSC	アナログ VIDEO 信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します	56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します	LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません
返信	入力信号の種類																																				
Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります																																				
D	DVI 信号が入力されています																																				
R	アナログ RGB 信号が入力されています																																				
Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています																																				
V	アナログ VIDEO 信号が入力されています																																				
N	信号が入力されていません																																				
返信例	映像入力信号のフォーマット																																				
1080i 59.94Hz	SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します																																				
800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します																																				
NTSC	アナログ VIDEO 信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します																																				
56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します																																				
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません																																				
返信例	音声入力信号のフォーマット																																				
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します																																				
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています																																				
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)																																				
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません																																				

※4 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します

返信例	HDCP の認証状態
HDCP SUPPORT	HDCP に対応した表示機器が接続されています
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していない表示機器が接続されています
HDCP ERROR	HDCP に対応した表示機器が接続されていますが、認証に失敗しました
HDCP CHECK NOW	表示機器の接続状態が変わった場合などに表示され、表示機器の状態を確認中です
UNCONNECTED	表示機器が接続されていません

※5 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します

返信	出力信号の種類
Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります
D	DVI 信号を入力しています
C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません
N	表示機器が接続されていません

※6 以下のいずれかの場合は、1 個のエラーコードを返信します

エラーコード	出力の状態
B	表示機器が接続されていません
C	HDCP の認証中です
D	HDCP の認証に失敗しました

上記以外の場合は、映像、音声の順でエラーコードを返信します

映像のエラーコードは以下のいずれかになります

エラーコード	映像出力の状態
0	正常に映像が出力されています
1	@SVO 映像出力端子設定 (P. 49) が「OFF」に設定されています
2	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、DDC 電源が入力されていません (入力機器が接続されていない場合は、通常この状態になります)
3	映像信号が入力されていません
4	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、ソース機器の映像出力がミュート状態です
5	HDCP の付加された信号が入力されているが、表示機器が HDCP に対応していません (HDCP の認証処理中にも返信されることがあります)
6	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、映像の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません
7	本機が対応していない信号 (サンプリングクロックまたは有効画素数が範囲外) が入力されています
A	入力チャンネルが OFF に設定されています。

音声のエラーコードは以下のいずれかになります

エラーコード	音声出力の状態
0	正常に音声が出力されています (ただしアナログ音声信号の入力状態は検出できないため、「0」が返信される場合でも、アナログ入力を選択されているときは音声が出力されないことがあります)
1	@SAM 音声出力ミュート設定 (P. 53) が「ON」に設定されています
2	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、DDC 電源が入力されていません (入力機器が接続されていない場合は、通常この状態になります)
3	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、音声信号が入力されていません

		エラーコード	音声出力の状態
		4	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、ソース機器の音声出力がミュート状態です
		5	HDCP の付加された信号が入力されているが、表示機器が HDCP に対応していません (HDCP の認証処理中にも返信されることがあります)
		6	デジタル入力 (IN1～IN3) の場合のみ返信され、音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません
		7	圧縮音声が入力されているが、表示機器が圧縮音声に対応していません
		8	@SDO デジタル音声出力端子設定 (P. 56) が「OFF」に設定されています
		9	@SDM 出力モード設定 (P. 47) が「DVI MODE」に設定されているか、音声に対応していない表示機器が接続されています。
		A	入力チャンネルが OFF に設定されています。
実行例	送	@GSS, 0, 0	IN1 の全ステータスを取得。
	受	@GSS, 0, 0, H30, 1080P 60Hz, LINEAR PCM 48kHz, HDCP ON	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号</li> <li>映像入力信号 : 1080P 60Hz</li> <li>音声入力信号 : LINEAR PCM 48kHz</li> <li>HDCP : ON</li> </ul>
	送	@GSS, 5, 2	IN6 の映像入力信号のフォーマットを取得。
	受	@GSS, 5, 2, 1024x 768 60.00Hz	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像入力信号 : 1024x 768 60.00Hz</li> </ul>
	送	@GSS, 2, 3	IN3 の音声入力信号のフォーマットを取得。
	受	@GSS, 2, 3, NO SIGNAL	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声入力信号 : 入力信号なし</li> </ul>
	送	@GSS, 6, 0	OUT A の全ステータスを取得。
受	@GSS, 6, 0, HDCP SUPPORT, H30, 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDCP の認証状態 : 正常終了</li> <li>出力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号</li> <li>エラーコード : 映像、音声ともに正常</li> </ul>	
送	@GSS, 7, 1	OUT B の HDCP の認証状態を取得。	
受	@GSS, 7, 1, UNCONNECTED	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDCP の認証状態 : 未接続</li> </ul>	
送	@GSS, 6, 3	OUT A のエラーコードを取得。	
受	@GSS, 6, 3, 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーコード : 映像信号が入力されておらず、音声信号は正常</li> </ul>	
関連項目	7. 18. 6 表示機器状態表示		

@GIV	バージョン情報取得		
コマンド書式	@GIV		
返り値書式	@GIV, id, ver		
パラメータ	id : 製品型番		
	ver : ファームウェアバージョン		
実行例	送	@GIV	製品の情報を取得。
	受	@GIV, MSD-601, 1.00	製品型番とファームウェアバージョンを返信。
関連項目	7. 18. 7 バージョン情報表示		





株式会社 アイ・ディ・ケイ  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765  
月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

MSD-601 取扱説明書 (コマンドガイド)  
発行日 2014年02月04日 Ver.2.0.1

\* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。  
\* 本書の無断転載を禁じます。